ネットワークカメラ

型名 **VN-V25**
VN-V26
VN-X35
VN-V225 シリーズ
VN-X235 シリーズ

取扱説明書
（設定編）

LST0850-001A

もくじ

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　: 操作上の注意が書かれています。

メモ　: 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　: 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書は、ネットワークの設定、Internet Explorer を使った設定および統合ビューワーの操作について説明しています。
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- カメラの取り付けについては、付属の [はじめにお読みください] と、付属 CD-ROM 内の [取扱説明書（設置編）]（pdf）をご覧ください。
- 機種固有の機能や設定値などについては、機種名およびシリーズ名を記載しています。
- 本書は、カメラのファームウエア V2.00 以降に対応しています。
（VN-V25、VN-V26、VN-X35）

ネットワークの要件

- カメラが送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を越えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由でカメラを制御できなくなる場合があります。
- カメラが送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は約20 Mbpsです。

総配信量の見積り

カメラからの JPEG 総ビットレートは、
カメラの設定、クライアントの数、クライアントからの要求フレーム数により決まります。カメラからの MPEG4 総ビットレートは、配信本数によって決まります。これらを考慮してシステム設計してください。

JPEG ストリームのビットレート

1 枚あたりの JPEG ファイルのサイズは、エンコードの設定やカメラ映像によって異なります。AFS を選択した場合は、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。VFS を選択した場合は、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズはカメラ映像に応じて増減します。

■ AFS(Average File Size) のファイルサイズ

(※X) は、VN-X シリーズのみ

配信ファイルサイズ選択可能範囲		
Quad VGA(※X)	**VGA**	**QVGA**
40 KB ～ 200 KB	10 KB ～ 100 KB	3 KB ～ 33 KB

■ VFS(Variable File Size) のファイルサイズ

(※X) は、VN-X シリーズのみ

		配信ファイルサイズ（参考値）		
		Quad VGA(※X)	**VGA**	**QVGA**
画質の設定値	**VFS1(高)**	180 KB	80 KB	27 KB
	VFS2	160 KB	60 KB	20 KB
	VFS3	140 KB	40 KB	13 KB
	VFS4(中)	120 KB	30 KB	10 KB
	VFS5	100 KB	25 KB	8 KB
	VFS6	80KB	20 KB	7 KB
	VFS7(低)	60 KB	15 KB	5 KB

ビットレートの設定やクライアントからの要求フレームレートによって最大配信数は変わります。最大ではマルチキャストを含めて 20 本のストリームを配信できます。これらのフレームレートを合計したものが、総フレームレートになります。

例えば 2 個のクライアントから 10 fps を要求され、それとは別にマルチキャストで 10 fps を送信している場合、総フレームレートは以下のようになります。

10+10+10 = 30 fps

例えば 2 個のクライアントから 5fps を要求され、それとは別にマルチキャストで 5fps を送信している場合、総フレームレートは以下のようになります。

5 + 5 + 5 = 15fps

1 枚あたりの JPEG ファイルサイズが 120KB であれば、総ビットレートは以下のようになります。
120KB × 15fps = 1800KB/s = 約 14.4Mbps

MPEG4 ストリームのビットレート

MPEG4 ストリームのビットレート方式は、VBR（可変ビットレート）または CBR（固定ビットレート）のいずれかの方式を選択できます。
VBR 方式は入力映像信号の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。
CBR 方式は入力映像信号の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。
VBR、CBR とも、めやすとしてのビットレートを設定できます。（64 kbps ～ 8000 kbps）

ネットワークの要件 (つづき)

音声のデータ量

送信する音声データは最大で 2 本です。受信する音声データは最大で 1 本です。音声データは 1 本あたり 64 kbps です。音声のデータ量は次の式で計算できます。

64 kbps ×本数

本数は TCP で送信している本数（クライアントの数）、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えばカメラが 2 本の音声を送信し、1 本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

64 kbps × 3 = 192 kbps

配信数制限

カメラは設定およびクライアントからの要求により配信数の上限が決まります。
JPEG の配信方法は、“ フレームレート優先 ” モードと “ クライアント数優先 ” モードのどちらかを選択できます。“ フレームレート優先 ” モードは、クライアントから要求されたフレームレートで JPEG を配信するモードです。配信ストリームの中で最も高いビットレートを基準に、最大配信数が決まります。“ クライアント数優先 ” モードは、多数のクライアントから要求が来た場合に、要求されたフレームレートより低いフレームレートで JPEG を配信することにより、多数のクライアントを受け付けるモードです。最大 20 クライアントからの配信要求を受け付けることができます。

■ フレームレート優先モードを選択した場合

クライアントから要求されたフレームレートで JPEG を配信します。
最大配信数を超えて配信要求を行なわれた場合、配信要求は拒否されます。

● JPEG のみを配信する場合

例えばクライアント A が 1 Mbps を要求し、クライアント B が 5 Mbps を要求している場合、5 Mbps 以下の要求をさらに 2 本（合計 4 本）配信可能です。

JPEG のみを配信する場合の最大配信数

ビットレートが最大の配信	最大配信数	合計最大ビットレート
1 Mbps 以下	20	20 Mbps
5 Mbps 以下	4	20 Mbps
10 Mbps 以下	2	20 Mbps
10 Mbps を越える場合	1	設定可能な最大の値（24 Mbps）

● JPEG と MPEG4 を同時に配信する場合

最大で JPEG を 2 クライアント、MPEG4 を 3 クライアント、それぞれ配信可能です。ただし、合計ビットレートが 20 Mbps を超えてしまう場合は配信要求は拒否されます。

JPEG と MPEG4 を同時に配信する場合の最大配信数

JPEG 最大配信数	MPEG4 最大配信数	合計ビットレート
2	3	20 Mbps 以下

● MPEG4 のみを配信する場合

設定されたビットレートにより最大配信数が決まります。最大配信数を超えて配信要求を行なわれた場合、配信要求は拒否されます。

MPEG4 のみを配信する場合の最大配信数

設定ビットレート	最大配信数	合計最大ビットレート
0.6 Mbps 以下	20	12 Mbps
3 Mbps 以下	4	12 Mbps
4 Mbps 以下	3	12 Mbps
6 Mbps 以下	2	12 Mbps
6 Mbps を越える場合	1	設定可能な最大の値（8 Mbps）

■ クライアント数優先モードを選択した場合

● JPEG のみを配信する場合

フレームレート優先モードで配信要求を拒否されない条件においてはフレームレート優先モードと同じく、クライアントから要求されたフレームレートで JPEG を配信します。フレームレート優先モードで配信要求を拒否される条件においては、ビットレートの上限が下の表の値になるようにフレームレートを制御し、最大 20 クライアントからの配信要求を受け付けます。
例えばクライアント A、B がそれぞれ 10 Mbps を要求・受信している場合にクライアント C が 5 Mbps を要求すると、各クライアントへの配信ビットレートが 5 Mbps 以下となるようにフレームレートを下げます。

JPEG のみを配信する場合におけるビットレートの上限

現在の配信数	上限ビットレート	合計最大ビットレート
2 以下	10 Mbp	20 Mbp
3~4	5 Mbp	20 Mbp
5~20	1 Mbp	20 Mbp

● JPEG と MPEG4 を同時に配信する場合
フレームレート優先モードで配信要求を拒否されない条件においてはフレームレート優先モードと同じ動作になります。フレームレート優先モードで配信要求を拒否される条件においては、ビットレートの上限が下の表の値になるように JPEG 配信のフレームレートを制御し、JPEG と MPEG4 の配信数の合計が最大 20 となるまで配信要求を受け付けます。ただし、MPEG4 配信ストリームの合計ビットレートが 10 Mbps 以上の場合は配信要求を拒否します。

JPEG と MPEG4 を同時に配信する場合における JPEG ビットレートの上限

現在の配信数	上限ビットレート	合計最大ビットレート
2 以下	5Mbp	10 Mbp
3〜4	2.5 Mbp	10 Mbp
5〜20	0.5 Mbp	10 Mbp

● MPEG4 のみを配信する場合
設定されたビットレートにより最大配信数が決まります。最大配信数を超えて配信要求を行なわれた場合、配信要求は拒否されます。

MPEG4 のみを配信する場合の最大配信数
(☞ 4 ページ)

メモ：
● 画像の配信中に設定ビットレートを変更すると、配信制限が正しく機能しない場合があります。

ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数（フレームレート）が少なくなります。また、画像配信が遅延します。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。
音声が途切れたり、遅延時間が増大します。

ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつカメラは送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。
音声が途切れることがあります。
マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下は無くなります。

ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、画像のフレームレートの低下が起こります。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。
音声が途切れることがあります。

パケットロス

カメラから TCP で画像を取得する場合、パケットロスは TCP の再送によりリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、画像のフレームレート低下が起こります。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。
音声は途切れが起こります。
カメラからのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合、画像のフレームレート低下が起こります。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。
音声が途切れることがあります。

使用するプロトコル、ポート番号一覧

カメラでは下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

プロトコル / ポート番号	用途
送信元	
TCP/80	JPEG/MPEG4 取得、Web 設定ページ、API、音声取得
TCP/5510	VSIP
UDP/5510	VSIP
UDP/9541	VSIP 発見プロトコル
TCP/10020 TCP/10021 TCP/10023	（調整用に予約）
TCP/32040	アラーム配信
TCP/49298	音声データ受信
宛先	
TCP/20、21	FTP
TCP/25	メール送信
TCP/110	POP（メール送信）
TCP/ ユーザー設定番号	アラーム送信
UDP/123	SNTP
UDP / ユーザー設定番号	アラーム送信

IP アドレスの設定

IP アドレスの設定手順

カメラの IP アドレスを下記手順で設定します。

Step1　パソコンの IP アドレス設定
(☞7 ページ)

設定用パソコンの IP アドレスを設定します。

Step2　Internet Explorer の設定
(☞8 ページ)

設定用パソコンとカメラを接続するために、Internet Explorer の設定を行います。

Step3　カメラとパソコンの接続
(☞10 ページ)

設定用パソコンとカメラを接続します。

Step4　カメラの IP アドレス設定
(☞12 ページ)

[基本設定 1] 画面の [IP 設定] 項目を、“ 固定 IP” または、“DHCP” に設定します。

● **IPアドレスを設定するためのパソコンをご用意ください。**

● **設定用パソコンの最小仕様**

OS　：Windows XP(Professional または Home Edition)（SP2）
　　：Windows Vista Business(SP1)

Web ブラウザ　：Internet Explorer
XP　:Version 6.0
Vista　:Version 7.0

ご注意：

● カメラに IP アドレスを設定する場合、カメラと設定用パソコンおよび、スイッチングハブのみで構成されたネットワークで設定を行なってください。
● 他のネットワーク機器や他のネットワークと接続されたハブに LAN ケーブルを接続し、設定を行うことはトラブルの原因となります。

● **IP アドレスを設定するためのシステム構成**

工場出荷時は “ 固定 IP”（DHCP クライアント機能がオフ）になっており、カメラの起動後、下記の IP アドレスで起動します。

IP アドレス　：192.168.0.2
サブネットマスク
　：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ
　：なし

メモ：

● カメラへ固定の IP アドレスを設定するために、カメラ、スイッチングハブ、および設定用パソコンをカテゴリー 5 以上のストレート LAN ケーブルで接続してください。

パソコンの IP アドレス設定

パソコンの IP アドレスを、カメラと通信可能なものに設定してください。
本項目は、Windows XP を基本に記述してあります。

1 [スタート] をクリックする

- [コントロールパネル]–[ネットワークとインターネット接続]–[ネットワーク接続]の順に選択します。

Windows Vista：

- [設定]–[コントロールパネル]–[ネットワーク共有センター]–[ネットワーク接続の管理] の順に選択します。

2 Internet Explorer を起動するパソコンが、つながれているネットワークを選ぶ

- 右クリックし、[プロパティ] を選びます。
- [Microsoftネットワーク用クライアント]と[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のチェックボックスが、選択されていることを確認します。

Windows Vista：

- [Microsoftネットワーク用クライアント]と[インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]のチェックボックスが、選択されていることを確認します。

3 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選び、[プロパティ] をクリックする

Windows Vista：

- [インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)] を選び、[プロパティ] をクリックする

4 IP アドレスを設定する

① [次の IP アドレスを使う] を選びます。

② [IP アドレス] を設定します。（工場出荷時のカメラに対応するには、例えば 192.168.0.100）

メモ：

- 変更する前に必ず元の IP アドレスのメモをとってください。

ご注意：

- ネットワーク環境内で同じ IP アドレスを使わないように設定してください。

③ [サブネットマスク] は設定作業に適切な値としてください。不明な場合はネットワークの管理者に確認してください。
（初期設定に対応するには、255.255.255.0）

④ [デフォルトゲートウェイ] がある場合、その IP アドレス（例えば 192.168.0.254）を設定します。

⑤ [OK] をクリックします。

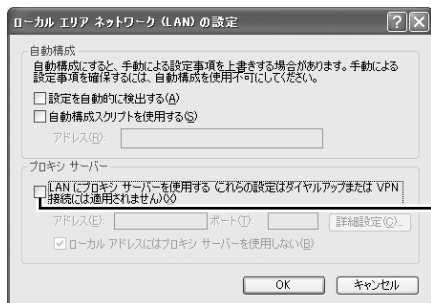
5 “ ローカルエリア接続プロパティ ” 画面の [OK] をクリックする

IP アドレスの設定 (つづき)

Internet Explorer の設定

1 パソコンで **Internet Explorer を起動する**

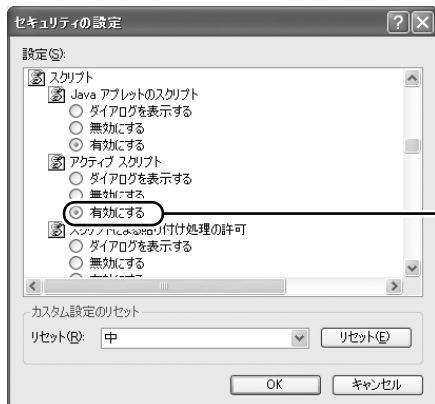
2 Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

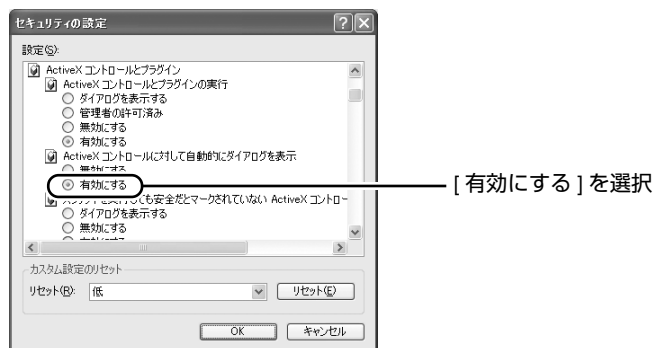
- [ツール]–[インターネットオプション]–[接続]–[LAN の設定] の順に選択し、[ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定] ウィンドウの [プロキシサーバー] 内の [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークをはずします。

チェックマークをはすずす

3 Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- まず[ツール]–[インターネットオプション]–[セキュリティ]で、[信頼済みサイト]を選択します。その後、直下の [信頼済みサイト［サイト ...］] ボタンが押せるようになり、それをクリックし表示されるウィンドウで、[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックマークをはずし、次の Web サイトをゾーンに追加します。

  http://192.168.0.2

- 次に [ツール]–[インターネットオプション]–[セキュリティ] で [信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ] ボタンを押します。開いた [セキュリティの設定] ウィンドウから [スクリプト]–[アクティブスクリプト] の [有効にする] を選択します。

4 **Internet Explorer で Active X コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする**

- [ツール]–[インターネットオプション]–[セキュリティ] で、[信頼済みサイト] をクリックします。[レベルのカスタマイズ] ボタンを選択し、[セキュリティの設定] ウィンドウを開きます。開いたウィンドウから [Active X コントロールとプラグイン] の全項目を [有効にする] にします。また、[その他] にある [サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する] を有効にします。

5 **ポップアップブロックを無効にする**

Internet Explorer でポップアップブロックが " 有効 " になっていると、カメラを接続することができません。
その場合には下記手順で、ポップアップブロックを " 無効 " にしてください。

- [ツール]–[ポップアップブロック]–[ポップアップブロックを無効にする]を選択すれば、すべてのサイトが許可されます。
- カメラなどの特定のサイトだけ許可したい場合には[ツール]–[ポップアップブロック]–[ポップアップブロックを有効にする] を選択し、その後、選択可能になる [ツール]–[ポップアップブロック]–[ポップアップブロックの設定] を選択し、[ポップアップブロックの設定] ウィンドウを開きます。開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとしてカメラのアドレスを追加します。

6 **ツールプラグインを Internet Explorer に入れている場合、ツールプラグインのポップアップブロック機能も無効にする**

IP アドレスの設定 (つづき)

カメラとパソコンの接続

1 Internet Explorer を起動する

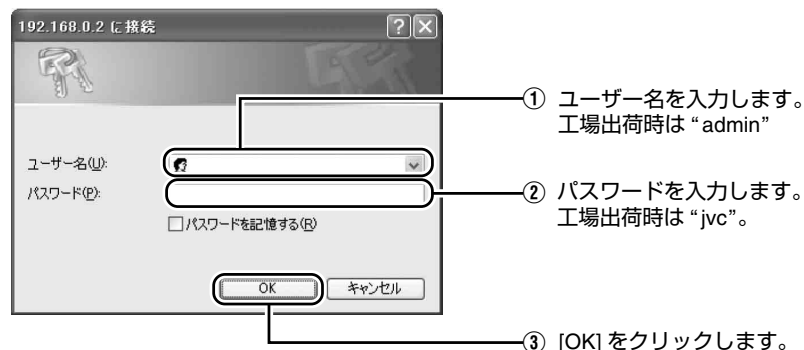
メモ：
- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行なってください。

■ カメラの IP アドレスがわからない場合

カメラの IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスし設定、変更することができません。
IP アドレスを知る手段としては、以下があります。

- 添付のCD-ROM内の[Tool_J]フォルダにある“ 検索ツール ” を使って、LAN内のカメラを検索することができます。

※ [検索ツール] の詳細については、添付の CD-ROM 内の “Readme” ファイルをご覧ください。

2 ユーザー名、パスワードを入力する（管理者権限でログインします）(☞ 14 ページ)

メモ：
- [セキュリティ警告] 画面が表示されたら [はい] ボタンを押し、先に進んでください。

3 統合ビューワーが表示される

4 オペレーターパスワード入力画面が表示される

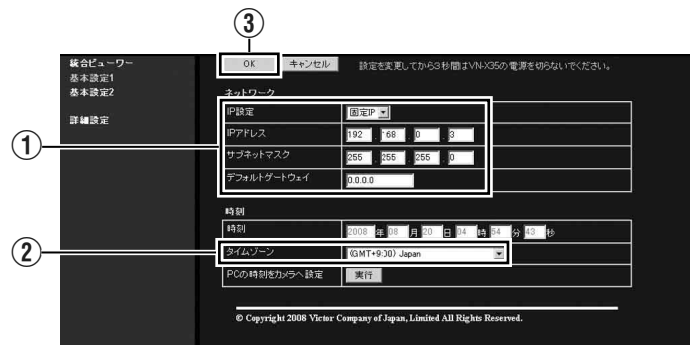
① ユーザー名 “operator” のパスワード（工場出荷時は “jvc”）を入力します。
② [OK] ボタンをクリックします。

メモ：
- パスワードがパソコンに記憶されている場合は、オペレーターパスワード入力画面は表示されません。“ カメラの IP アドレス設定 ” (☞12 ページ) へ進んでください。

IP アドレスの設定 (つづき)

カメラの IP アドレス設定

1 統合ビューワーの［詳細設定］をクリックする

2 [基本設定 1] 画面が表示される

① [IP 設定] 項目を設定します。

- 固定 IP に設定する場合：

  " 固定 IP" に設定し、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] の欄に設定したい値を入力します。

- DHCP に設定する場合：

  工場出荷時は " 固定 IP"（DHCP クライアント機能がオフ）になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、カメラの [IP 設定] 項目を "DHCP" に設定し、[OK] ボタンをクリックしてください。
  カメラに割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

ご注意:

- DHCPサーバーからカメラのMACアドレスへ割り当てるIPアドレスが、毎回同じになるようDHCPサーバーの設定を行なってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。

② [タイムゾーン] を選択します。
③ [OK] をクリックします。

3 確認画面が表示される

[OK] をクリックします。
カメラは新しい IP アドレスで再起動します。再起動には約 1 分かかります。

メモ：

- カメラの IP アドレスを変更すると、接続していたパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンからカメラへアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。

開いた画面の表示や構成がおかしい場合は、以下の手順でパソコンの設定を確認してください。

1. [スタート] − [コントロールパネル] − [画面] で [画面のプロパティ] ウィンドウを開く
2. [画面のプロパティ] ウィンドウの [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックする
3. [全般] タブの [DPI 設定] が [通常のサイズ（96DPI）] になっているか確認する
4. 他の設定になっていた場合、[通常のサイズ（96DPI）] に設定を変更し、Windows を再起動する

IP アドレスの設定 (つづき)

ユーザー名とパスワードの入力

最初にユーザー名とパスワードの入力を要求されます。
カメラはアクセス権限のレベルが３つあり、工場出荷時には次のように設定されています。

ユーザー名	工場出荷時のパスワード	説明
admin	jvc	すべての操作および設定変更が可能
operator	jvc	ネットワーク関係、メンテナンスを除く設定変更が可能
user	jvc	画像の閲覧が可能

● 各ユーザーがアクセスできるページ

各ユーザーがアクセスできるページが限定されています。また、Web ページ上のリンクの表示もユーザーのアクセス権限に合わせてアクセスできるページへのリンクのみ表示されます。

● **admin**

(※X) は、VN-X シリーズのみ

基本設定 1	[ネットワーク] [時刻]
基本設定 2	[カメラ] [エンコード] [JPEG] [MPEG4]
詳細設定	[カメラ] [エンコード] [音声]（VN-V25 にはこの機能はありません） [アラーム] [アラーム環境] [PTZ](※X) [オートパトロール](※X) [プライバシーマスク] [動き検出] [ネットワーク基本] [ネットワーク詳細] [プロトコル] [手動配信] [アクセス制限] [時刻] [パスワード] [メンテナンス] [LED 設定] [その他] [動作状況] [機器情報] [ポジションリスト](※X) [パトロール情報](※X)

● **operator**

(※X) は、VN-X シリーズのみ

基本設定 2	[カメラ] [エンコード] [JPEG] [MPEG4]
詳細設定	[カメラ] [エンコード] [音声]（VN-V25 にはこの機能はありません） [アラーム] [アラーム環境] [PTZ]**(※X)** [オートパトロール]**(※X)** [プライバシーマスク] [動き検出] [手動配信] [LED 設定] [その他] [動作状況] [機器情報] [ポジションリスト]**(※X)** [パトロール情報]**(※X)**

● **user**

詳細設定	[その他]

メモ：

● トップページを表示する前に、[セキュリティ情報] 画面が表示されます。[はい] ボタンを押せば先へ進みます。この警告画面を表示させたくない場合は、Internet Explorer の設定を次のように変更してください。
  ● [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] を開き、[信頼済みサイト] アイコンを選択します。
  ● その後､[レベルのカスタマイズ] ボタンを押し [その他]-[混在したコンテンツを表示する] の “ 有効にする ” を選択します。

ご注意:

● 設定変更の直後にリセットあるいは電源を落とさないでください。変更した設定内容が保存されず、工場出荷時の設定に戻る場合があります。

設定

設定ページの開き方

1 Internet Explorer の URL 欄に、カメラの IP アドレスを入力する (☞ 10 ページ)

統合ビューワーが開きます。

2 [詳細設定] をクリックする

- ユーザー名 “admin” でアクセスすると、[基本設定 1] ページが開きます。(☞ 17 ページ)
- ユーザー名 “operator” でアクセスすると、[基本設定 2] ページが開きます。(☞ 18 ページ)
- ユーザー名 “user” でアクセスすると、[その他] ページが開きます。(☞ 59 ページ)

基本設定 1

ネットワークの基本的な設定をするページです
“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [基本設定 1] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

メモ：

- Internet Explorer のアドレス欄に下記の URL(［　］ 内は、機種名) を入力すると、統合ビューワーを経由しないで [基本設定 1] 設定画面を開くことができます。
- 機種名は小文字で入力してください。

(例) VN- ［V225］ シリーズの場合

http://192.168.0.2/cgi-bin/ ［v225］ display.cgi? ［v225］ basicmenu1.html

ネットワーク		
	① **IP 設定**	DHCP クライアント機能を設定します。 DHCP を有効に設定する場合は、カメラを DHCP サーバーのあるネットワーク環境に接続してください。DHCP を “ 有効 ” に設定し、DHCP サーバーが存在しない場合は IP アドレス 192.168.0.2、サブネットマスク 255.255.255.0 に設定され、約 2 分後に起動します。(☞ 6 ページ)
	② **IP アドレス**	カメラの IP アドレスを設定します。
	③ **サブネットマスク**	カメラのサブネットマスクを設定します。
	④ **デフォルトゲートウェイ**	カメラのデフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルトゲートウェイを設定しない場合には、0.0.0.0 を入力してください。
時刻		
	⑤ **時刻**	カメラの時計の時刻を表示しています。 カメラが配信する時刻が JPEG ヘッダーに記録されます。時刻を変更する直前と直後で、JPEG ヘッダーにある時刻が不連続となります。
	⑥ **タイムゾーン**	タイムゾーンを設定します。
	⑦ **PC の時刻をカメラへ設定**	[**実行**] ボタンをクリックし、パソコンの**時刻**をカメラに設定します。

設定 (つづき)

基本設定 2

カメラ、JPEG、MPEG4 のパラメーターの基本的な設定をするページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [基本設定 2] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

メモ：

- Internet Explorer のアドレス欄に下記の URL(　　 内は、機種名) を入力すると、統合ビューワーを経由しないで [基本設定 2] 設定画面を開くことができます。
- 機種名は小文字で入力してください。

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

① カメラ ID

ここに入力された文字列は、JPEG のコメントセグメント（項目名：camera）に書き込まれます。JPEG のファイルフォーマットについては API ガイドをご覧ください。

② モニタータイプ

映像を表示するモニターに合わせてモニターの種類を選択します。選択されたモニターの種類に応じて画質設定が変わります。

カスタム	：好みに合わせて画質を設定できます。 詳細な設定は、詳細設定のカメラページで行います。(☞ 21 ページ)
LCD1, LCD2	：液晶モニター用の画質設定になります。 2 種類の選択項目から好みのタイプを選択してください。
CRT	：CRT（ブラウン管）モニター用の画質設定になります。

[**設定値：カスタム** ,LCD1,LCD2,CRT]

③ エンコード

JPEG および MPEG4 の各画面のフレームサイズを QuadVGA（1280 × 960）(※X)、VGA（640 × 480）、または QVGA（320 × 240）から選択します。
下記 4 種類 (※V)、または 8 種類 (※X) のパターンから選択します。

メモ：
- JPEG ファイルフォーマットについては API ガイドをご覧ください。

■ VN-V シリーズ配信サイズの組み合わせと使用可能な機能

	配信サイズ		機能
	JPEG	MPEG4	プライバシーマスク
1	QVGA	QVGA	JPEG/MPEG4
2	QVGA	VGA	JPEG のみ
3	VGA	QVGA	MPEG4 のみ
4	VGA	VGA	JPEG/MPEG4

■ VN-X シリーズ配信サイズの組み合わせと使用可能な機能

	配信サイズ		機能	
	JPEG	MPEG4	デジタル PTZ	プライバシーマスク
1	QuadVGA	VGA	MPEG4 のみ	−
2	QuadVGA	VGA	−	MPEG4 のみ
3	QuadVGA	QVGA	MPEG4 のみ	−
4	QuadVGA	− ※	JPEG のみ	−
5	QuadVGA	− ※	−	JPEG のみ
6	VGA	VGA	JPEG/MPEG4	−
7	VGA	VGA	−	JPEG/MPEG4
8	QVGA	QVGA	JPEG/MPEG4	−

※ 画像は配信されません。ビューワー上は、白く表示されます。

設定 (つづき)

基本設定 2 (つづき)

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

項目		説明
④JPEG		
	画質 / サイズ	JPEG の画質サイズ (符号量制御方式) とサイズ (目標ファイルサイズ) を指定します。“VFS1” から “VFS7” を選択した場合、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズは入力信号に応じて増減します。サイズ項目には、参考値が表示されます。記録容量が限られたレコーダーへ JPEG を記録する場合、この設定では、ファイルサイズが増減するので最大記録時間も変動します。“AFS” を選択した場合、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。サイズ項目で目標サイズを入力できます。 **[画質項目設定値：VFS1 〜 VFS7, AFS]** メモ： ● 画質項目設定値を AFS に設定した場合のみ画像サイズを設定することができます。 **[Quad VGA の設定範囲　：40 KB 〜 200 KB](※X)** **[VGA の設定範囲　：10 KB 〜 100KB]** **[QVGA の設定範囲　：3 KB 〜 33 KB]**
⑤MPEG4		
	ビットレート	MPEG4 エンコードのビットレートを設定します。 **[設定値の範囲：64 kbps 〜 8000 kbps]**
	符号量制御	MPEG4 の符号量制御方式を CBR(固定ビットレート) または VBR(可変ビットレート) にするかを選択します。 CBR　：入力映像信号の状況に関係なく一定のビットレートでエンコードします。ビットレートの予測が容易です。 VBR　：入力映像信号の状況に応じてビットレートを変えます。安定した画質となりますが、ビットレートの予測が困難となります。
	フレームレート	MPEG4 のフレームレートを設定します。 **[設定値の範囲：1 fps, 7.5 fps, 10 fps, 15 fps, 30 fps(※V)]**
	I フレーム間隔	I フレーム間隔を設定します。MPEG4 は I フレームを起点にしてエンコードします。間隔を短くするほど、映像が激しく変化しても画質が安定しますが、あまり変化しない映像で画質が低下します。また、マルチキャストでパケットロスが起こった場合の映像の回復が短時間になります。 **[設定値：15, 30, 45, 60, 75]**
	プライオリティ	MPEG4 エンコード時、フレームレートと画質のどちらを優先するかを選択します。 FPS　：フレームレートを優先します。動きのある映像をスムーズにモニターしたい場合、この設定にします。 Quality　：画質を優先します。

カメラページ

カメラのパラメーターを設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [カメラ] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。
- このページの設定を工場出荷時の値に戻したい場合は、[初期化] ボタンを押してください。

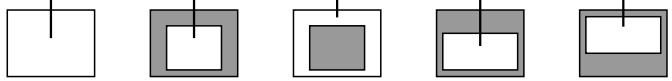
① **カメラ ID**	ここに入力された文字列は、JPEG のコメントセグメント （項目名：camera）に書き込まれます。JPEG のファイルフォーマットについては API ガイドをご覧ください。
② **モニタータイプ**	映像を表示するモニターに合わせてモニターの種類を選択します。選択されたモニターの種類に応じて画質設定が変わります。 カスタム　：好みに合わせて画質を設定できます。 LCD1,LCD2　：液晶モニター用の画質設定になります。2 種類の選択項目から好みのタイプを選択してください。 CRT　：CRT(ブラウン管) モニター用の画質設定になります。 **[設定値：カスタム , LCD1, LCD2, CRT]** **メモ：** ● ガンマ、エンハンス帯域の設定をしたい場合は、“ カスタム ” を選択してください。

設定 (つづき)

カメラページ (つづき)

③ ブラックレベル	黒レベルを調整します。数値を小さくすると映像が暗くなり、数値を大きくすると明るくなります。 **[設定範囲：0 ～ 2]** **メモ：** ● ブラックレベルを "0" に設定した場合､接続機器によっては黒レベルが低くなりすぎたり、黒がつぶれたりすることがあります。 ● MPEG4 画像を使用する場合、"1" または "2" に設定してください。
④ ガンマ	映像の暗い部分の見え方を変えたいとき、ガンマカーブを変更します。 Off ：ガンマ補正しません。全体的に暗い映像になります。 －3 ～ 3 ：ガンマ補正を行います。"0" のとき、標準的なガンマ補正となり、数値を小さくすると映像が暗く、大きくすると明るくなります。 **[設定範囲：Off, －3 ～ 0 ～ 3]** **メモ：** ● モニタータイプが “LCD1”,“LCD2”,“CRT” に設定されている場合は、固定の設定となります。
⑤ エンハンス帯域	エンハンス（輪郭強調）の種類を設定します。 Low ：輪郭強調が太くなります。 High ：輪郭強調が細くなります。 **[設定値：Low, High]** **メモ：** ● モニタータイプが “LCD1”,“LCD2”,“CRT” に設定されている場合は、固定の設定となります。
⑥ エンハンスレベル	エンハンス（輪郭強調）の強さを調整します。 数値を大きく ：輪郭強調が強くなります。 数値を小さく ：輪郭強調が弱くなります。 **[設定範囲：－5 ～ 0 ～ 5]**
⑦ カラーレベル	色の濃さを調整します。 数値を大きく ：色が濃くなります。 数値を小さく ：色が薄くなります。 **[設定値：－5 ～ 0 ～ 5]**

<table>
<tr><td>⑧ AGC</td><td>AGC(自動ゲイン制御) の設定をします。
Off　　　：AGC 機能を使用しない時
Mid　　　：光量が不足している時
High　　　：特に光量が不足している時
Super　　：High に設定しても明るさが不足の時
[設定値：Off, Mid, High, Super]
メモ：
● ⑫簡易デイナイトが“白黒”または“オート”に設定されている場合は設定できません。
● ⑫白黒モードが“白黒”または“オート低,オート中,オート高”に設定されている場合は設定できません。
● AGC 機能を使用すると、暗い場所では画面がザラつきます。</td></tr>
<tr><td>⑨ 電子感度アップ</td><td>露光時間を長くして感度を上げる機能です。
被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上がるかを設定します。“x16” の場合、“Off” に比べ 16 倍感度が上がります。感度が上がると、シャッタースピードが遅くなるため、動きは不自然なものとなります。“Off” に設定時、電子感度アップ機能は動作しません。
[設定値：Off, x2(1/15s), x4(1/7.5s), x8(1/3.75s), x16(0.5s), x32(1.1s), x62(2.1s)](※V)
[設定値：Off, x2(1/7.5s), x4(1/3.75s), x8(0.5s), x16(1.1s), x22(1.5s)](※X)
メモ：
● 倍率を上げると、画面がザラついたり、白っぽくなったり、白キズが現れる場合がありますが、異常ではありません。
● 電子感度アップを “Off” 以外に設定したとき、蛍光灯や水銀灯などの照明下では、フリッカ（チラツキ）が発生します。これは、電子感度アップの原理上発生するもので故障ではありません。
● シャッタースピードを 1/250 ～ 1/10000 に設定している場合は、電子感度アップは “Off” に設定してください。</td></tr>
<tr><td>⑩ ALC</td><td>ALC(被写体の明るさに応じて映像レベルを一定に保つ機能) の優先順位を設定します。被写体が暗くなったとき、動きを優先するか画質を優先するかを選択します。
動き優先　：動きを優先します。
　　　　　　被写体が暗くなると、AGC(自動ゲイン制御) が優先的に機能するため、動きの速い被写体に適しています。
画質優先　：画質を優先します。
　　　　　　被写体が暗くなると、電子感度アップ機能が優先的に機能するため、画質を重視する被写体に適しています。
[設定値：動き優先 , 画質優先]</td></tr>
</table>

設定 (つづき)

カメラページ (つづき)

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

<table>
<tr><td>⑪ シャッタースピード</td><td>シャッタースピードを設定します。
Auto, Auto(1/15-1/100) ：明るさに応じて自動的にシャッタースピードが変わります。
1/15 ～ 1/10000 ：固定のシャッタースピードになります。
フリッカレス ：蛍光灯などによるフリッカ（チラツキ）を抑制します。
[設定値：Auto, Auto(1/15-1/100)(※X), 1/15(※X), 1/25(※X), 1/30, 1/50, 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000, フリッカレス]
メモ：
● “Auto”はマニュアルアイリスレンズ使用時のみ設定することを推奨します。
● “1/50”,“1/100”,“ フリッカレス ” 以外を設定した場合､フリッカが出ることがあります。“ フリッカレス ” に設定していても、電子感度アップを使用するとフリッカが出ることがあります。
● 電子感度アップを “Off” 以外に設定している場合は、シャッタースピードを 1/250 ～ 1/10000 に設定できません。</td></tr>
<tr><td>⑫ 簡易デイナイト
VN-V25
VN-X35 のみ</td><td>簡易デイナイトを設定します。
カラー ：常にカラーモードになります。
白黒 ：常に白黒モードになります。
オート ：低照度の場合に白黒モードになります。
[設定値：カラー , 白黒 , オート]
メモ：
● オートに設定している場合は、白黒モードに切り換わるときの明るさのレベル設定は、変更できません。</td></tr>
<tr><td>⑫ 白黒モード
VN-V26
VN-V225 シリーズ
VN-X235 シリーズ
のみ</td><td>映像を白黒モードにする設定をします。また、低照度時、自動的に白黒モードにする場合のレベルを 3 段階の中から選択します。
カラー ：常にカラーモードになります。
白黒 ：常に白黒モードになります。
オート低 ：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。
オート中 ：被写体の信号レベルが中輝度で白黒モードに切り換わります。
オート高 ：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。
[設定値：カラー , 白黒 , オート低 , オート中 , オート高]
メモ：
● モードが切り換わるときには赤外線フィルターを抜き差しする機械音が発生します。
● 機械音が発生しているあいだ、カメラから配信する音声はミュートされます。（VN-V26 のみ）
● “ オート低 ”,“ オート中 ”,“ オート高” に設定した場合､本機が設定に応じた照度を検出すると即座にモードが切り換わります。</td></tr>
</table>

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

項目	説明
⑬ **EV 補正**	EV(Exposure Value) 補正の設定をします。－9 (－3EV) ～ 6 (+2EV) の範囲を 1/3EV ステップで設定できます。数値を小さくすると暗い画像、大きくすると明るい画像になります。 **[設定値： －9 ～ 0 ～ 6]**
⑭ **ホワイトバランス**	ホワイトバランス調整機能を選択します。色温度 2800K ～ 9500K の範囲内の照明に対して、調整できます。
ATW	Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾）モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。
AWC	Auto-White Balance Control（オートホワイトバランス調整）モードになります。AWC では、[AWC R-Gain], [AWC B-Gain] 項目に入力された数値がホワイトバランスに反映されます。
One Push AWC	AWC(オートホワイトバランス調整) を実行します。 被写体と同じ照明条件の所で、画面の中心付近に白いものを置き実行してください。 **メモ：** ● [One Push] ボタンを押すと、[AWC R-Gain], [AWC B-Gain] の数値が AWC 実行結果を反映した値に置き換わります。 ● ホワイトバランスを ATW に設定していても、[One Push] ボタンを押すと自動的に AWC モードに切り替わります。
AWC R-Gain	AWC モード時の R（赤）のレベルを調整します。 数値を大きく　：赤みを強くします。 数値を小さく　：赤みを弱くします。 **[設定値：0 ～ 85 ～ 255]**
AWC B-Gain	AWC モード時の B（青）のレベルを調整します。 数値を大きく　：青みを強くします。 数値を小さく　：青みを弱くします。 **[設定値：0 ～ 219 ～ 255]**
⑮ **逆光補正**	逆光補正機能を選択します。強い光源などが被写体と同じ方向にあるときに設定します。不要な光源が測光エリア外になるようにします。 Off　　　　　：逆光補正しません。 エリア 1 ～ 4　：4 種類の測光エリアの中から選択します。 **[設定値：Off, エリア 1, エリア 2, エリア 3, エリア 4]** 測光エリア　測光エリア　測光エリア　測光エリア　測光エリア Off　エリア 1　エリア 2　エリア 3　エリア 4 **メモ：** ● 逆光補正のエリアはデジタル PTZ(※X) には連動しません。

設定 (つづき)

エンコードページ

JPEG および MPEG4 のエンコードパラメーターを設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [エンコード] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。
- 統合ビューワーで再生中に本ページの設定内容を変更した場合には、統合ビューワーを再起動してください。
- カメラが送信できるビットレートには上限があります。変更した設定が上限を超える場合、設定変更は受け付けられません。送信の上限については「 ネットワークの要件 」をご覧ください。(☞ 3 ページ)

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

項目	説明
① フレームサイズ	JPEG および MPEG4 の各画面のフレームサイズを Quad VGA(1280×960)(※X) または VGA(640×480) または QVGA(320×240) から選択します。 4 種類 (※V)、または 8 種類 (※X) のパターンから選択します。 (☞ 19 ページ)
JPEG	
② 画質 / サイズ	JPEG の画質 (符号量制御方式) とサイズ (目標ファイルサイズ) を指定します。 “VFS1” から “VFS7” を選択した場合、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズは入力信号に応じて増減します。 サイズ項目には、参考値が表示されます。記録容量が限られたレコーダーへ JPEG を記録する場合、この設定では、ファイルサイズが増減するので最大記録時間も変動する点にご注意ください。 “ AFS” を選択した場合、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。サイズ項目で目標サイズを入力できます。 **[画質項目設定値：VFS1 〜 VFS7, AFS]** **メモ：** ● **画質項目設定値を** AFS に設定した場合のみ画像サイズを設定することができます。 **[Quad VGA の設定範囲　：40 KB 〜 200 KB]**(※X) **[VGA の設定範囲　：10 KB 〜 100KB]** **[QVGA の設定範囲　：3 KB 〜 33 KB]**
MPEG4	
③ ビットレート	MPEG4 エンコードのビットレートを設定します。 **[設定値の範囲：64 kbps 〜 8000 kbps]**
④ 符号量制御	MPEG4 の符号量制御方式を CBR(固定ビットレート) または VBR(可変ビットレート) にするかを選択します。 CBR　：入力映像信号の状況に関係なく一定のビットレートでエンコードします。ビットレートの予測が容易です。 VBR　：入力映像信号の状況に応じてビットレートを変えます。安定した画質となりますが、ビットレートの予測が困難となります。
⑤ フレームレート	MPEG4 のフレームレートを設定します。 **[設定値の範囲：1 fps, 7.5 fps, 10 fps, 15 fps, 30 fps**(※V)**]**
⑥ I フレーム間隔	I フレーム間隔を設定します。MPEG4 は I フレームを起点にしてエンコードします。間隔を短くするほど、映像が激しく変化しても画質が安定しますが、あまり変化しない映像で画質が低下します。また、マルチキャストでパケットロスが起こった場合の映像の回復が短時間になります。 **[設定値：15, 30, 45, 60, 75]**
⑦ プライオリティ	MPEG4 エンコード時、フレームレートと画質のどちらを優先するかを選択します。 FPS　：フレームレートを優先します。動きのある映像をスムーズにモニターしたい場合、この設定にします。 Quality　：画質を優先します。

設定 (つづき)

音声ページ

（VN-V25 にはこの機能はありません）
音声のパラメーターを設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [音声] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。

クリック

<table>
<tr><td>① 通信方式</td><td>音声の通信方式を設定します。
半二重に設定した場合、パソコンからカメラへ音声を送信しているあいだは、カメラからパソコンへ送信される音声が消されます。
全二重に設定した場合、カメラからパソコンに送信される音声を聞きながら、パソコンからカメラに音声を送信できます。
[設定値：半二重 , 全二重]
メモ：
● 全二重に設定した場合、パソコンから送信した音声が内蔵マイク（VN-V26）またはカメラに接続した外部マイク経由でパソコン側に戻ってきてしまいエコーが発生することがあります。その場合は半二重の設定でお使いください。</td></tr>
<tr><td>② マイクゲイン</td><td>カメラに接続する外部マイクへのゲインを設定します。
[設定値：0 dB, 20 dB, 26 dB, 32 dB, AGC]

内蔵マイクのゲインを設定します。（VN-V26 のみ）
[設定値：0 dB, 20 dB, 26 dB, 32 dB]</td></tr>
<tr><td>③ マイク電源供給
（VN-V26 にはこの機能はありません）</td><td>カメラに接続する外部マイクへの電源供給を設定します。
[設定値：On，Off]</td></tr>
<tr><td>④ 音声再生ファイル No.1～No.5</td><td>アラームが発生した場合にカメラのオーディオ出力端子から出力する音声ファイルを登録します。

■登録した音声を出力するには
● 下記仕様の音声ファイルをパソコンに用意し、カメラに登録する
♦ファイルフォーマット　WAV ファイルフォーマット
♦符号化方式　リニア PCM
♦サンプリング周波数 8 kHz
♦量子化ビット 16 bit
♦モノラル
♦最大サイズ 30 秒（再生ファイル 1 ～ 5 の合計とする）
● アラームページの [アクション] 項目を “ 音声再生 ” に設定する (☞ 31 ページ)
ご注意：
● 音声ファイルの再生中に、統合ビューワの音声送信機能を動作させると、音声ファイルの再生は停止します。
● 統合ビューワの音声送信機能が動作中、音声ファイルの再生はできません。

[登録] ボタンを押すと、選択した音声ファイルがカメラに登録されます。
[削除] ボタンを押すと、カメラに登録されている音声ファイルが削除されます。
[参照] ボタンを押すと、ファイルを選択する画面が表示され、用意した音声ファイルを選択します。
[再生] ボタンを押すと、カメラに登録されている音声ファイルを再生し、カメラのオーディオ出力端子に出力します。
[停止] ボタンを押すと、音声ファイルの再生を停止します。
メモ：
● WAV ファイルは、Windows のサウンドレコーダーや、汎用の音声処理ツールを使って、録音や作成ができます。</td></tr>
</table>

設定 (つづき)

アラームページ

アラームが発生した場合のアクションを設定するページです。
最大で 5 個のアクション（No.01 ～ No.05) まで設定できます。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [アラーム] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。なお選択されたアクションに有効な項目だけが保存されます。アクションで無効を選択すると、各設定項目は初期化されます。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

<table>
<tr><td>① アクション</td><td>アクションの種類を指定します。
無効　：アクションを起こしません。
メール送信　：電子メールを送信します。送信先のメールアドレスを指定してください。メールの件名は「Alarm from 機種名」（例えば VN-V225VP の場合：「Alarm from VN-V225」）、メールの差出人は [カメラ ID] になります。
[メール送信データ] には送信するメッセージを記入してください。英数字の場合には最大 127 文字です。日本語の場合には、最大 63 文字です。
メールに最新画像を添付する場合には、画像添付を “On” にしてください。

プリポスト記録 +FTP
：プリポスト記録した JPEG ファイルを FTP 送信します。プリポスト記録や FTP サーバーの設定はアラーム環境ページにあります。(☞ 34 ページ)
FTP の転送レートは最大で 1 Mbps です。ポスト記録中に新しい FTP 用トリガーが起こると、その時点までをプリ記録とし、改めてポスト記録を開始します。ポスト記録を終えて FTP 送信を行なっている途中に新しい FTP 用のトリガーが起こると、新たなポスト記録を開始します。
TCP 通知　：[TCP/UDP 通知データ] 欄に入力された文字列を [TCP/UDP IP アドレス] および [TCP/UDP ポート番号] で指定された送信先へ TCP で送信します。
UDP 通知　：[TCP/UDP 通知データ] 欄に入力された文字列を [TCP/UDP IP アドレス] および [TCP/UDP ポート番号] で指定された送信先へ UDP で送信します。
アラーム出力 1 メイク　：アラーム出力 1 をメイクにします。
アラーム出力 1 ブレイク　：アラーム出力 1 をブレイクにします。
アラーム出力 2 メイク　：アラーム出力 2 をメイクにします。
アラーム出力 2 ブレイク　：アラーム出力 2 をブレイクにします。
[アラーム出力持続時間] 欄でアラーム出力時間を設定します。
ポジション (※X)：[アクションポジションナンバー] 項目 ⑤(☞ 32 ページ) で設定したポジションへ移動します。
音声再生（VN-V25 にはこの機能はありません）
：カメラに登録した音声再生ファイルを再生します。(☞ 28 ページ)
（VN-V26、VN-V225 シリーズ、VN-X235 シリーズのみ）
白黒 ➡ カラー　：[白黒モード] の設定を “ 白黒 ” から “ カラー ” へ変更します。
カラー ➡ 白黒　：[白黒モード] の設定を “ カラー ” から “ 白黒 ” へ変更します。
オート低　：[白黒モード] の設定を “ オート低 ” へ変更します。
オート中　：[白黒モード] の設定を “ オート中 ” へ変更します。
オート高　：[白黒モード] の設定を “ オート高 ” へ変更します。</td></tr>
</table>

設定 (つづき)

アラームページ (つづき)

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

項目	説明
② 条件 1	アクションを起こすための 1 番目のトリガーを指定します。 [設定値：入力 1 メイク，入力 2 メイク，入力 1 ブレイク，入力 2 ブレイク，動き検出，ポジション (※X)，白黒 ➡ カラー（VN-V26，VN-V225 シリーズ，VN-X235 シリーズのみ），カラー ➡ 白黒（VN-V26，VN-V225 シリーズ，VN-X235 シリーズのみ）] メモ： ● 2 番目のトリガーをオフにした場合には、1 番目のトリガーだけでアクションを起こします。 ● 1 番目のトリガーとして “ 動き検出 ”、“ ポジション ”(※X)、を選択した場合には、“ 条件 1- 2 の間隔 ” および “ 条件 2” は選択できません。
③ 条件 1- 2 の間隔	1 番目と 2 番目の両方のトリガーを指定した場合に有効です。 1 番目のトリガーと 2 番目のトリガーの最大間隔を指定します。1 番目のトリガーが起こってから 2 番目のトリガーが起こるまでの時間が最大間隔以内であれば、アクションを起こします。 **[設定範囲：1 秒〜 3600 秒]**
④ 条件 2	アクションを起こすための 2 番目のトリガーを指定します。 アラーム入力のメイク、アラーム入力のブレイクから選択できます。 **[設定値：入力 1 メイク，入力 2 メイク，入力 1 ブレイク，入力 2 ブレイク]**
⑤ アクションポジションナンバー (※X)	**[アクション] 項目 ① で “ ポジション ” を選択した場合に移動するポジションの番号を設定します。** **[設定範囲：0 〜 19]**
⑥ 音声再生ファイル	[アクション] 項目 ① で “ 音声再生 ” **を選択した場合に再生するファイルの番号を設定します。** **[設定範囲：1 〜 5]**
⑦ トリガーポジションナンバー (※X)	[条件 1] 項目 ② で “ ポジション ” を選択した場合に移動するポジションの番号を設定します。 **[設定範囲：0 〜 19]**

⑧ メール送信	メールアドレス　：受取人メールアドレスを入力します。 メール送信データ：メール送信データを入力します。英数字の場合は、最大 127 文字です。日本語の場合は最大 63 文字です。 画像添付　：メールに画像添付するかどうかを設定します。
⑨ TCP/UDP 通知	TCP/UDP IP アドレス ：アラームアクションが TCP 通知または UDP 通知の場合のアドレスを入力します。（IP または FQDN） TCP/UDP ポート番号 ：アラームアクションが TCP 通知または UDP 通知の場合のポート番号を入力します。（1 ～ 65535） TCP/UDP 通知データ ：TCP または UDP 通知時の送信データを入力します。英数字の場合は、最大 127 文字です。日本語の場合は最大 63 文字です。
⑩ アラーム出力持続時間	アラーム出力端子からのアラーム出力時間を設定します。 “0”に設定した場合には、メイク（またはブレイク）に切り換わった後にブレイク（またはメイク）へ戻りません。 **[設定範囲：0, 100 ミリ秒～ 5000 ミリ秒]**
⑪ アラーム動作適用時間帯指定	曜日ごとにアラーム動作の有無を指定し、その時間帯を設定します。 適用曜日　：日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜 アラーム動作　：動作する時間帯を指定する 停止する時間帯を指定する 常に動作する 常に停止する 適用時間帯　：スタート時刻とエンド時刻を時、分で指定します。

設定 (つづき)

アラーム環境ページ

アラームに関する環境を設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [アラーム環境] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

<table>
<tr><td>① アラーム用メール</td><td>アラームページのアクションとして [メール送信] を指定した場合の、メール環境を設定します。
[SMTP] と [POP] が利用可能です。通常は、[SMTP] の設定のみ行なってください。
差出人メールアドレスには、カメラ側のメールアドレスを入力してください。
[POP before SMTP] を有効にする場合は、[POP] の設定も行なってください。また、[SMTP サーバー] などに FQDN を設定した場合は、ネットワーク基本ページの DNS サーバーの設定も行なってください。(☞ 45 ページ)

メモ：
FQDN（Fully Qualified Domain Name）とは
完全修飾ドメイン名であり、TCP/IP のネットワークにおいて、ホスト名、ドメイン名を省略せずにすべて記述する表記方法のことを示します。
例えば、ホスト名が www でドメイン名が victor.co.jp の場合、FQDN で表記すると「www.victor.co.jp」となります。
FQDN に日本語は使用できません。</td></tr>
<tr><td>② アラーム用 FTP</td><td>アラームページのアクションとして [プリポスト記録 +FTP] を指定した場合の、FTP 環境を設定します。本ページ中の周期的 FTP を使用する場合の FTP 環境と共通です。
[パス名] を空欄にした場合には、FTP サーバーのホームディレクトリへ FTP 転送します。ホームディレクトリの下にあるディレクトリへ FTP 転送したい場合には、[パス名] にそのディレクトリ名を設定します。
ディレクトリの区切りは“/”にしてください。
例：subdir1/subdir2
先頭に“/”を付けた場合、FTP 転送されるディレクトリがどこになるかは FTP サーバに依存します。
[周期的 FTP] を “On” にすると、周期的に FTP サーバーへ最新の JPEG 画像を転送します。[間隔] は周期を秒で指定します。
ファイル名：周期的 FTP でのファイル名は 2 種類から選択できます。
“Auto” を選択すると、年月日時分秒、番号から生成されます。
例 :20071114161032-001-2.jpg
“Manual” を選択すると、ファイル名生成方法を下記の中から選択できます。
● [ユーザー定義の文字列] に入力した文字列のみのファイル名
例：Camera1.jpg
● [ユーザー定義の文字列] に年月日時分秒と番号を付加したファイル名
例：Camera1_20071114161032001.jpg
プリポスト記録 +FTP されるファイル名は、アクション番号、年月日時分秒、番号、トリガーフラグを組み合わせたものになります。
例：01-20070711152904-001-0.jpg
最初の 2 桁はアクション番号、次の 14 桁は年月日時分秒を示します。
ハイフンの後の 3 桁は、その FTP で送信される一連の JPEG ファイルの番号です。先頭は“000”です。最後の 1 桁はトリガーフラグで、トリガーが入った時点の JPEG ファイルのみ“1”に、それ以外では“0”になります。</td></tr>
</table>

設定 (つづき)

アラーム環境ページ (つづき)

② **アラーム用 FTP (つづき)**	周期的 FTP 時間帯設定: 曜日ごとに周期的 FTP 転送動作の有無を指定し、その時間帯を設定します。 適用曜日　：日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜 アラーム動作　：動作する時間帯を指定する 停止する時間帯を指定する 常に動作する 常に停止する 適用時間帯　：スタート時刻とエンド時刻を時、分で指定します。 プリポスト記録パラメータ: [プリポスト記録フレームレート] ：FTP 用プリポスト記録の JPEG フレームレートを設定します。 **[設定値：1 fps, 2 fps, 3 fps, 5 fps, 6 fps, 7.5 fps, 10 fps, 15 fps, 30 fps (※V)]** [プリポスト記録プリトリガー] ：FTP 用プリ記録のトリガー時間（アラーム入力前の記録時間）を秒で設定します。 **[設定範囲：0 秒～ 60 秒]** [プリポスト記録ポストトリガー] ：FTP 用ポスト記録のトリガー時間（アラーム入力後の記録時間）を秒で設定します。 **[設定範囲：0 秒～ 60 秒]** **メモ：** ● [プリポスト記録プリトリガー] と [プリポスト記録ポストトリガー] の最大時間は、エンコードページの JPEG サイズの設定および、[プリポスト記録フレームレート] の設定値によって決まります。 入力された値が実現できない組み合わせであった場合には、メッセージが表示されます。
③ **アラーム出力**	アラーム出力についての設定を行います。
出力持続時間	[手動出力] の出力時間を設定します。 **[設定範囲：0, 100 ミリ秒～ 5000 ミリ秒]**
手動出力	アラーム出力を手動で操作します。 右側に現在の出力状態が表示されます。[出力持続時間] に“0”が設定されている場合、[メイク] ボタンを押すとアラームはメイク出力になり、[ブレイク] ボタンを押すとアラームはブレイク出力になります。 [出力持続時間] に“0”以外の値が設定されている場合に [メイク] ボタンを押すと、出力持続時間の時間だけアラームはメイク出力になり、その後にブレイク出力になります。 出力持続時間に“0”以外の値が設定されている場合に [ブレイク] ボタンを押すと、出力持続時間の時間だけアラームはブレイク出力になり、その後にメイク出力になります。

設定 (つづき)

PTZ ページ

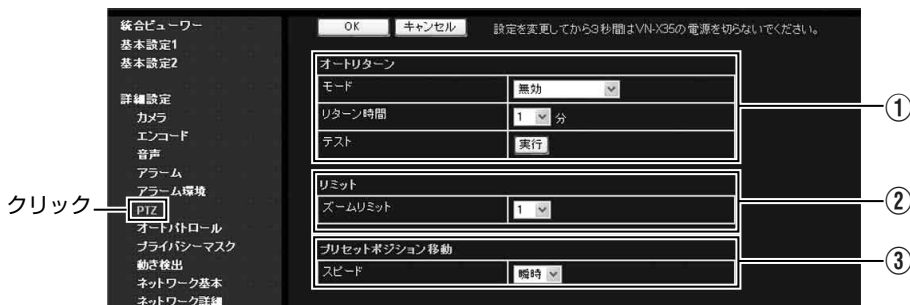
(VN-X シリーズのみ)

オートリターン、ズームリミット、プリセットポジション移動の設定をします。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- はじめにエンコードの設定をしてください。(☞ 19 ページ)
- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [PTZ] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

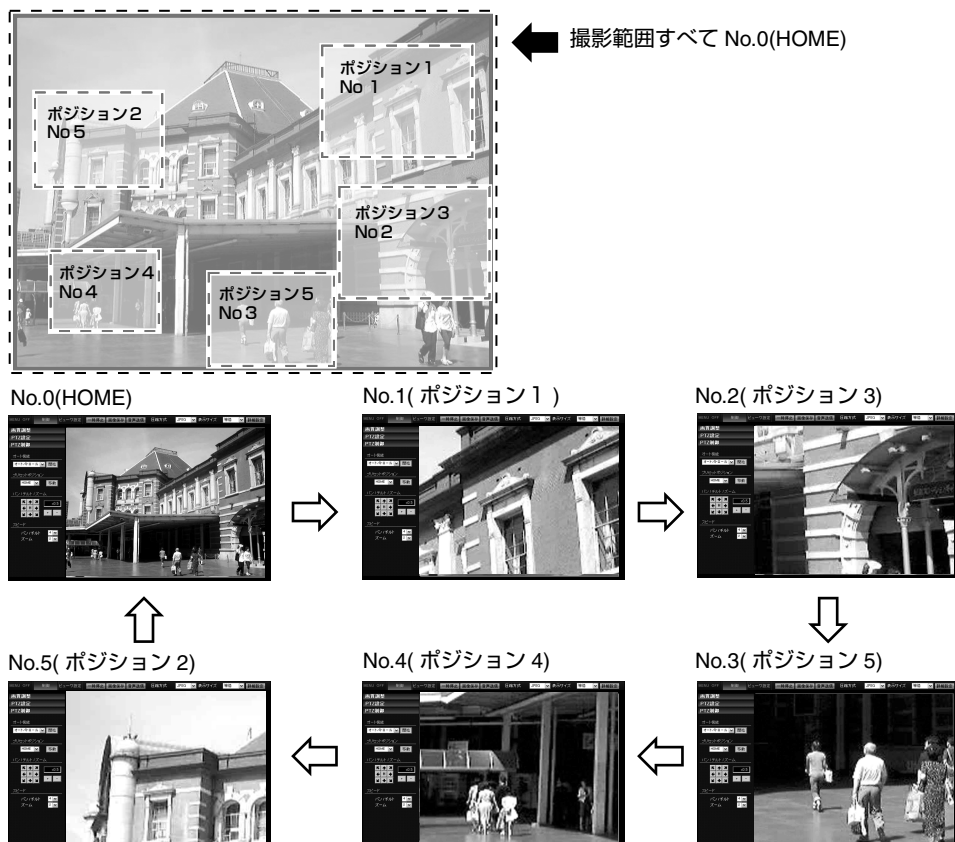
ご注意 :

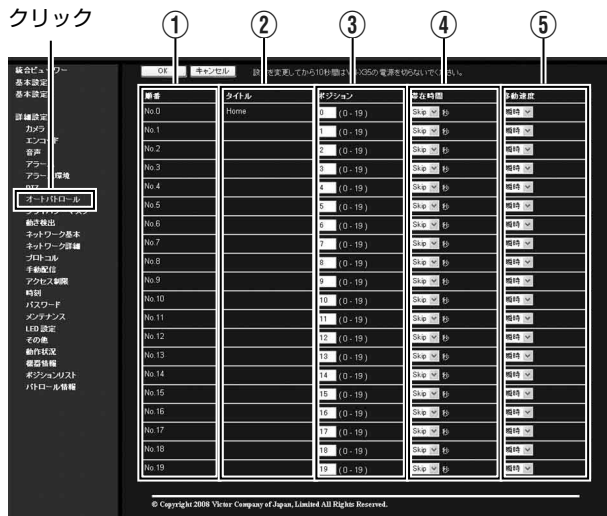
- エンコードの配信サイズの組み合わせによって使用できない場合があります。(☞ 19 ページ)

項目		説明
① **オートリターン**		マニュアル操作したカメラを [リターン時間] で設定した期間、操作しないと自動的に [モード] で設定した状態に戻ります。
	モード	オートリターン後の動作を設定します。 **無効** :オートリターン動作しません。 HOME :ホームポジションに戻ります。 **オートパトロール**:オートパトロール動作に戻ります。
	リターン時間	オートリターンで動作を戻すまでの時間を設定します。 **[設定値 : 1 分 , 2 分 , 3 分 , 5 分 , 10 分 , 20 分 , 30 分 , 60 分]**
	テスト	[実行] をクリックすると設定したオートリターン動作をテスト実行します。
② **リミット**		
	ズームリミット	電子ズーム機能の最大値を設定します。 **[設定値 : 1 , 2 , 4 , 8]**
③ **プリセットポジション移動**		プリセットポジションへの移動速度を調整します。オートパトロールでのプリセットポジション移動にも適用されます。
	スピード	**[設定値 : 瞬時 , 低速 , 中速 , 高速]**

オートパトロールページ

（VN-X シリーズのみ）
設定時間の間隔で複数のポジションの映像を切り換えて表示するオートパトロール動作の設定を行います。登録したポジションを順番に見たい場合に設定します。
“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- はじめにエンコードの設定をしてください。(☞ 19 ページ)
- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [オートパトロール] をクリックしてください。
- PTZ 機能でポジション登録してください。(☞ 71 ページ)
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

ご注意：
- デジタル PTZ が使用できる画像で有効となります。(☞ 19 ページ)

設定（つづき）

オートパトロールページ (つづき)
（VN-X シリーズのみ）

① 順番	No.0～No.19 の順番でカメラの映像が切り換わります。
② タイトル	ポジションのタイトルが表示されます。
③ ポジション	順番に移動するポジション番号を設定します。 **[設定値の範囲：0～19]**
④ 滞在時間	各ポジションの映像を表示する時間を設定します。（単位は秒） オートパトロール時に表示したくないポジションは、Skip を設定します。 **[設定値：Skip, 10, 20, 30, 45, 60, 120]**
⑤ 移動時間	対象ポジションへの移動速度を設定します。 **[設定値：瞬時 , 低速 , 中速 , 高速]**

プライバシーマスクページ

プライバシーマスクは、画像の一部を見えないようにする機能です。
カメラでは、自由な形状のプライバシーマスクを好きな場所に何個でも設定することができます。プライバシーマスクの設定は、マスクする領域を赤で塗りつぶした BMP ファイル（別途用意）をアップロードすることにより行います。実際に表示する色は、本ページで設定した表示色になります。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- はじめにエンコードの設定をしてください。(☞ 19 ページ)
- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [プライバシーマスク] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

ご注意:
- エンコードの配信サイズの組み合わせによって使用できない場合があります。(☞ 19 ページ)

メモ：
- プライバシーマスクはアナログビデオ信号では、正しく機能しません。

設定（つづき）

プライバシーマスクページ (つづき)

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

① モード	プライバシーマスク機能を働かせるかどうかを設定します。 “On” に設定すると、以下の項目で設定したプライバシーマスクが画像に表示されます。
② マスクデータ	事前に、プライバシーマスクをかける位置や形状を指定するための BMP ファイル（Quad VGA（※X）、VGA または QVGA サイズ）をパソコンに用意します。（BMP ファイルの作成方法は、下記を参照ください。） [参照] ボタンを押すと、ファイルを選択する画面が表示されます。この画面で用意した BMP ファイルを選択します。 [アップロード] ボタンを押すと、選択した BMP ファイルがカメラにアップロードされます。 **BMP ファイル作成方法** **1.** カメラを設置してから､JPEG ビューワーを使って JPEG ファイルをパソコンに保存します。（JPEG ビューワー：☞ 74 ページ） **2.** 得られた JPEG ファイルをパソコンのペイントツールで開き、マスクしたい領域を赤（(R,G,B)=(255,0, 0)）で塗りつぶします。 **3.** この画像を BMP ファイル（24 ビット）として新規保存します。
③ マスクカラー	[設定] ボタンを押すと、マスクカラー設定画面が表示されます。 プライバシーマスクの色を変更できます。
④ マスクカラー設定	赤、緑、青の割合で色を設定します。 [保存] ボタンを押すと設定した色がマスクカラーとなります。 [初期化] ボタンを押すと、マスクカラーが初期化されます。

動き検出ページ

動き検出を設定するページです。
“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

メモ：

- 統合ビューワーや、他のクライアントがカメラから画像を取得している場合、カメラの配信性能を超えると、[動き検出] ページに映像が表示されないことがあります。[動き検出] ページを利用するときは、統合ビューワーや、他のクライアントを停止させてください。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [動き検出] をクリックしてください。
- 動き検出有効エリアが青く表示されます。
- 動きを検出すると、ビューワーの周囲が赤く強調されます。

クリック

① **表示画面**	横 10 x 縦 8 のブロックに分割されており、ブロックごとに動きを検出するかどうか設定できます。ブロックをクリックすると画面が青く表示されます。もう一度クリックすると元の自然な色に戻ります。青色表示の時はマスクがはずれた状態を示し、動き検出ができます。[OK] ボタンを押すことで動き検出が有効になります。 画面が自然な色のブロックはマスクされた状態を示し、そのブロックでの動き検出ができません。工場出荷時にはすべてのブロックがマスクされています。[OK] ボタンを押すことで動き検出が有効になります。 [全てマスク] ボタンによりすべてのブロックがマスク状態になります。 [マスク解除] ボタンによりすべてのブロックがマスクを解除されます。
② **動き検出**	動き検出の On/Off を設定します。[OK] ボタンを押すことでマスクがはずれたブロックの動き検出が有効になります。 **メモ：** 動き検出が “On” に設定されている場合でも、マスク状態のブロックは動きを検出しません。
③ **OK/ キャンセル**	変更したパラメーターを反映させる場合に [OK] ボタンを押します。 [キャンセル] ボタンを押すと、変更が取り消されます。

設定（つづき）

動き検出ページ (つづき)

④ 検出感度	動き検出の感度を設定します。 数字が大きいほど検出感度があがり、敏感になります。 [OK] ボタンを押すことで有効になります。 **[設定範囲：0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10]**
⑤ 全てマスク	すべてのブロックをマスクします。 [OK] ボタンを押すことで有効になります。
⑥ マスク解除	すべてのブロックのマスクを解除し、現在の動き検出設定、検出感度設定を有効にします。 [OK] ボタンを押すことで有効になります。

メモ：

- エリア表示位置はめやすです。必ず動作確認を行なってください。
- 一画面は 80（横 10 ×縦 8）ブロックに分割されています。動き検出をする被写体の大きさが 2 ブロック以上となるように、画角を設定してください。

ご注意:

- 蛍光灯などのフリッカにより動き検出の誤動作が発生する場合があります。
- 照明により明るさが変化する場合、動きとして検出される場合があります。
- 動き検出は盗難、火災などを防止するためのものではありません。また、被写体条件や設定条件によっては正しく動作しない場合があります。
  万一発生した事故や損害に対する責任は、一切負いません。

ネットワーク基本ページ

ネットワークの基本的な設定をするページです。“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [ネットワーク基本] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。
- [ネットワーク基本] ページの設定を変更すると、その時点で動作していたすべてのサービスは終了します。例えば JPEG/MPEG4 を配信中に [ネットワーク基本] ページの設定を変更すると、配信は止まり TCP は切断されます。

① IP 設定	DHCP クライアント機能を設定します。 DHCP を有効に設定する場合は、DHCP サーバーのあるネットワーク環境にカメラを接続してください。 DHCP を“ 有効 ” に設定していて、DHCP サーバーが存在しない場合、起動から約 2 分後にカメラは IP アドレス 192.168.0.2、サブネットマスク 255.255.255.0 で起動します。IP アドレスについては、“IP アドレスの設定 ” (☞6 ページ) をご覧ください。
② IP アドレス	カメラの IP アドレスを設定します。
③ サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを設定します。
④ デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルトゲートウェイを設定しない場合には、0.0.0.0 を設定してください。
⑤ ホスト名	カメラのホスト名を設定します。 英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）が使用できます。アンダースコア（ _ ）は使用できません。
⑥ DNS サーバー	DNS サーバーのアドレスを設定します。
⑦ MAC アドレス	カメラの MAC アドレスが 16 進数で表示されます。
⑧ IP プロトコル	IPv6 のオン・オフを設定します。(IPv4 は常にオンです。)
⑨ IPv6 アドレス	IPv6 の設定が有効になると “link local” と “global” の 2 種類のアドレスが表示されます。ただし、接続しているネットワークが IPv6 に対応していない場合は、“global” のアドレス欄が “Disabled” と表示されます。

設定（つづき）

ネットワーク詳細ページ

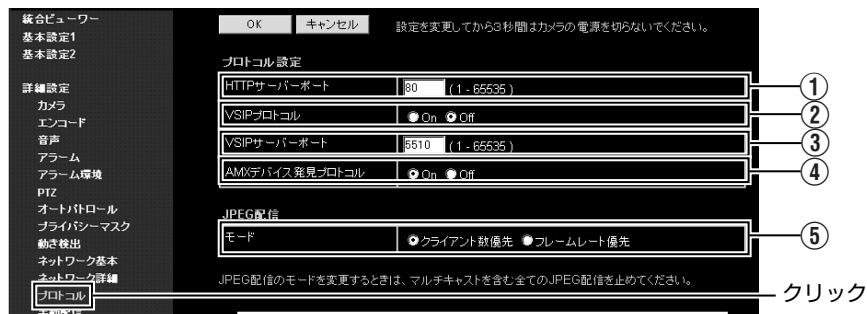
ネットワークの詳細な設定をするページです。“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [ネットワーク詳細] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

① **JPEG TOS(DS field)**	JPEG を格納した IP パケットの TOS 値を設定します。 8 ビットで構成される TOS 値のうち、上位 6 ビットが DSCP です。 この上位 6 ビットを設定することができます。下位2ビットは “0” となります。例えば、“250” に設定すると、下位 2 ビットが “0” に変換され、“248” となります。TOS 値は優先制御に対応したネットワークで使用されます。ネットワークスイッチに優先制御を設定することによって、TOS 値が大きいパケットを優先してルーティングすることができます。
② **MPEG4 TOS(DS field)**	MPEG4 を格納した IP パケットの TOS 値を設定します。 詳細は、上記 [JPEG TOS(DS field)] 項目を参照してください。
③ **Audio TOS (DS field)** （VN-V25 にはこの機能はありません）	音声を格納した IP パケットの TOS 値を設定します。 詳細は、上記 [JPEG TOS(DS field)] 項目を参照してください。
④ **TTL Unicast**	TCP で送信する JPEG/MPEG4/ 音声パケットの TTL 値を設定します。
⑤ **TTL Multicast**	マルチキャストで送信する JPEG/MPEG4/ 音声パケットの TTL 値を設定します。
⑥ **MTU**	JPEG/MPEG4 を格納するパケットの最大サイズを設定します。 **[設定値の範囲：1280 ～ 1500]**
⑦ **ネゴシエーション**	ネットワークのネゴシエーションを設定します。 “Auto” 以外を選択した場合は、接続する相手のネットワーク機器を “Auto” にせず、カメラと同じ設定にしてください。

プロトコルページ

プロトコルに関するページです。“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [プロトコル] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 変更後 Internet Explorer で接続する場合、再接続が必要です。

プロトコル設定		プロトコルについての設定をします。
	① HTTP サーバーポート	カメラが内蔵している Web サーバーのポート番号を変更することができます。 (1 ～ 65535：工場出荷時は 80 番) JPEG/MPEG4/ 音声を要求する HTTP のポート番号も変更されます。 Internet Explorer からカメラへアクセスする場合、工場出荷状態では次のように Internet Explorer へ入力します。 http：//192.168.0.2 しかし、例えばポート番号を 8080 番に変更した場合は、次のように Internet Explorer へ入力します。 http：//192.168.0.2：8080
	② VSIP プロトコル	VSIP プロトコルの On/Off を変更することができます。 Verint 社の Nextiva からカメラを使用したい場合は “On” にしてください。
	③ VSIP サーバーポート	カメラが内蔵している VSIP サーバーポート番号を変更することができます。 (1～65535：工場出荷時は 5510 番)
	④ AMX デバイス発見プロトコル	AMX デバイス発見プロトコルの On/Off を変更することができます。 AMX 社のシステムでカメラを使用する場合は “On” にしてください。 **[設定値：On，Off]**
JPEG 配信		JPEG 画像配信の優先度を選択します。
	⑤ モード	JPEG 画像配信のクライアント数とフレームレートのどちらを優先するかを選択します。 クライアント数優先：配信クライアント数を優先します。(☞ 4 ページ) 配信要求が増えると配信する JPEG のフレームレートを低くし、最大 20 クライアントまで配信が可能になります。 フレームレート優先：フレームレートを優先します。(☞ 4 ページ) クライアントから要求された JPEG のフレームレートを維持したい場合に設定します。最大配信数を超えて配信要求を行なった場合、要求は拒否されます。

メモ：

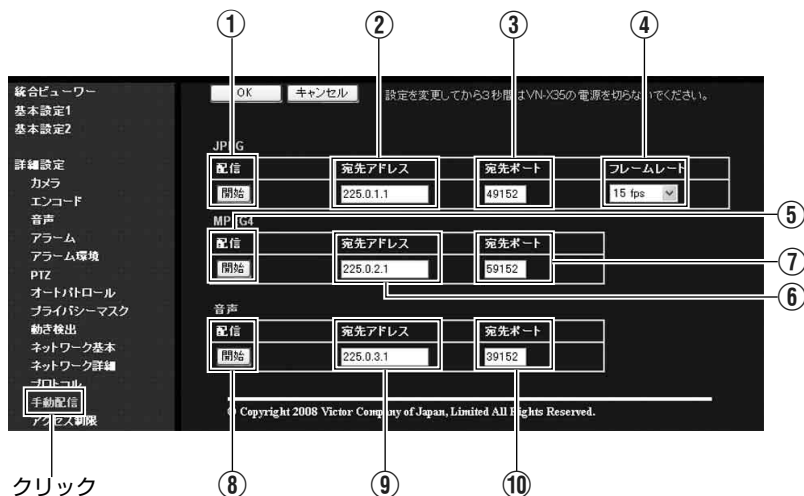
- HTTP ポート番号を変更した場合は、統合ビューワーの設定画面にある HTTP ポート番号も同じ値に設定してください。

設定（つづき）

手動配信ページ

手動でマルチキャスト送信するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [手動配信] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

JPEG		
	① 配信	JPEG 画像のストリームの開始、停止を行います。 [開始] ボタンにより送信を開始させた時点で、[手動配信] ページに設定されたパラメーターは保存されます。
	② 宛先アドレス	JPEG 配信の宛先アドレスを指定します。 マルチキャストアドレスを指定してください。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるマルチキャストアドレスになるように設定してください。
	③ 宛先ポート	JPEG 配信の宛先ポート番号を指定します。RTP 準拠のため、偶数で指定します。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるポート番号になるよう設定することを推奨します。 ポート番号が重複している場合、1 台のパソコンで複数のマルチキャストを受信できなくなります。
	④ フレームレート	JPEG 画像をマルチキャスト送信する場合の送信フレームレートを指定します。

MPEG4		
	⑤ 配信	MPEG4 画像のストリームの開始、停止を行います。 [開始] ボタンにより送信を開始させた時点で、[手動配信] ページに設定されたパラメーターは保存されます。
	⑥ 宛先アドレス	MPEG4 配信の宛先アドレスを指定します。 マルチキャストアドレスを指定してください。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるマルチキャストアドレスになるように設定してください。
	⑦ 宛先ポート	MPEG4 配信の宛先ポート番号を指定します。RTP 準拠のため、偶数で指定します。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるポート番号になるよう設定することを推奨します。 ポート番号が重複している場合、1 台のパソコンで複数のマルチキャストを受信できなくなります。
音声（VN-V25 にはこの機能はありません）		
	⑧ 配信	音声のストリームの開始、停止を行います。 [開始] ボタンにより送信を開始させた時点で、[手動配信] ページに設定されたパラメーターは保存されます。
	⑨ 宛先アドレス	音声配信の宛先アドレスを指定します。 マルチキャストアドレスを指定してください。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるマルチキャストアドレスになるように設定してください。
	⑩ 宛先ポート	音声配信の宛先ポート番号を指定します。 RTP 準拠のため、偶数で指定します。 他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるポート番号になるよう設定することを推奨します。 ポート番号が重複している場合、1 台のパソコンで複数のマルチキャストを受信できなくなります。

メモ：

- マルチキャストを送信中にカメラの電源が落とされた場合、カメラは再起動後にマルチキャスト送信を自動で再開します。
- エンコードの設定が MPEG4 を配信できないパターンの時は、MPEG4 のマルチキャスト送信を開始できません。
  [VN-X シリーズ配信サイズの組み合わせと使用可能な機能] (☞19 ページ) をご覧ください。

設定（つづき）

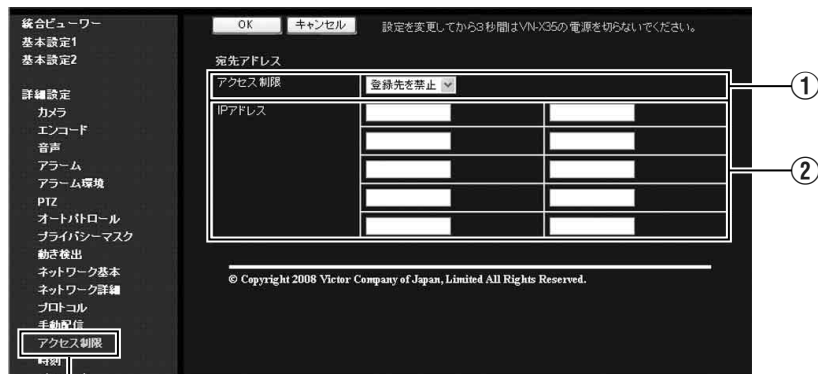
アクセス制限ページ

（VN-V25 には音声に関する機能はありません）
クライアントの制限を設定するページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [アクセス制限] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。
- 本機能の対象は JPEG/MPEG/ 音声の取得です。Web ブラウザによるアクセスや API の使用は、本機能によって制限されません。

ご注意:

- アクセス制限機能は、クライアントが TCP 接続したときに制限するかどうか判断します。すでに TCP 接続しているクライアントに対し、後からアクセス制限を設定しても、TCP 接続は切断されません。

<table>
<tr><td colspan="2">宛先アドレス</td><td>カメラへアクセスするクライアントを IP アドレスで制限できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>① アクセス制限</td><td>“ 登録先を禁止 ” を選択した場合には、[IP アドレス] 項目で指定した IP アドレスからの JPEG/MPEG4/ 音声の取得を拒否します。なお Web 設定ページへのアクセスは制限されません。
“ 登録先を許可 ” を選択した場合には、[IP アドレス] 項目で指定した IP アドレスからの JPEG/MPEG4/ 音声の取得を受け入れます。なお Web 設定ページへのアクセスは制限されません。</td></tr>
<tr><td></td><td>② IP アドレス</td><td>マルチキャストアドレスを指定し “ 登録先を禁止 ” を選択した場合には、カメラはそのマルチキャストアドレスへの送信を拒否します。
マルチキャストアドレスを指定し “ 登録先を許可 ” を選択した場合には、カメラはそのマルチキャストアドレスへの送信を受け付け、[IP アドレス] 項目に記述されていないマルチキャストアドレスへの送信は拒否します。</td></tr>
</table>

ご注意:
- “ 登録先を許可 ” を選択し、すべての IP アドレスの項目を空欄にした場合、すべての IP アドレスからの JPEG/MPEG4/ 音声の取得を拒否します。
  ただし Web 設定ページへのアクセスは制限されません。
  また指定された IP アドレスへの送信を API で指示された場合も、カメラは拒否します。

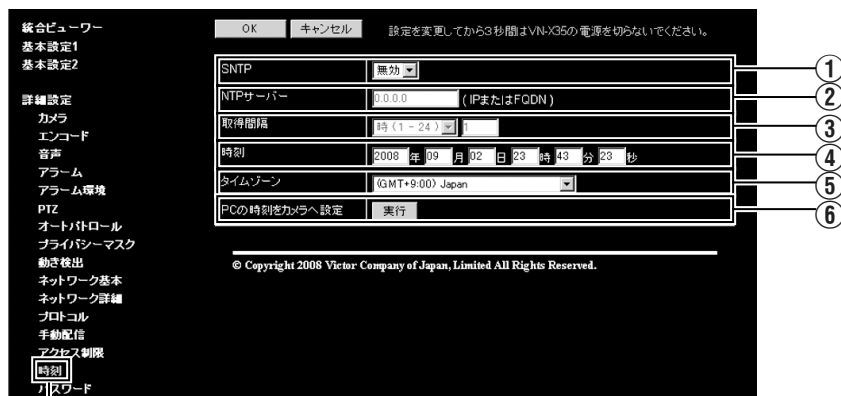
メモ：
- ある範囲の IP アドレスを指定したい場合、IP アドレスとサブネットマスクの組み合わせによる表記を [IP アドレス] の項目に記述します。
- サブネットマスクは 8 ～ 30 のビット長で表記します。
  例えば 192.168.0.0 から 192.168.0.255 を指定する場合、192.168.0.0/24([IP アドレス]/[サブネットマスクのビット長]) となります。

設定（つづき）

時刻ページ

時刻を設定するページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [時刻] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。
- 無効な値を入力して [OK] ボタンを押すと警告メッセージが表示され拒否されます。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] ボタンを押してください。

① **SNTP**	SNTP クライアント機能を設定します。 “ 有効 ” にすると、指定された NTP サーバーへ定期的にアクセスし、時刻を取得します。 なおカメラが配信する JPEG ヘッダーには時刻が記録されています。NTP サーバーから時刻を取得する直前と直後で、JPEG ヘッダーにある時刻が不連続となる可能性があります。
② **NTP サーバー**	NTP サーバーの IP アドレスを設定します。
③ **取得間隔**	NTP サーバーへアクセスする時間間隔を設定します。
④ **時刻**	カメラが持つ時計の時刻を表示しています。 値を入力することで時計の時刻を変更できます。（秒は設定できません。） なおカメラが配信する JPEG ヘッダーには時刻が記録されています。時刻を変更する直前と直後で、JPEG ヘッダーにある時刻が不連続となります。
⑤ **タイムゾーン**	タイムゾーンを設定します。
⑥ **PC の時刻をカメラへ設定**	[実行] をクリックすると、ご使用のパソコンの時刻をカメラに取り込むことができます。

パスワードページ

パスワードを変更するページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [パスワード] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。

① ユーザー名	ユーザー名を選択します。
② 新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 パスワードは 1 文字以上 8 文字以下を受け付けます。カメラは大文字と小文字を区別します。
③ 新しいパスワード再入力	確認のため新しいパスワードをもう一度入力します。

ご注意:
- パスワードを忘れないよう、十分な管理を行なってください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ビクターサービス窓口にご相談ください。

設定（つづき）

メンテナンスページ

メンテナンスのためのページです。

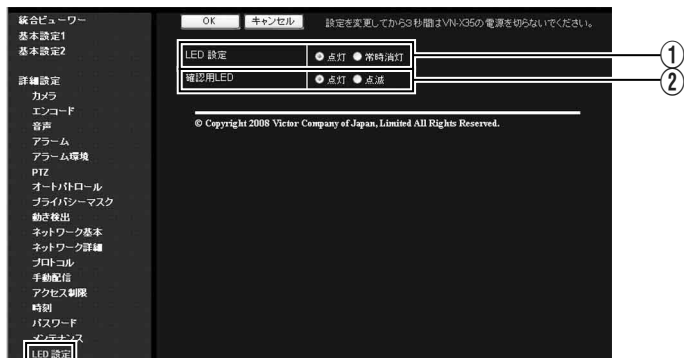
“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [メンテナンス] をクリックしてください。

① **再起動**	カメラを再起動します。（再起動には約 1 分かかります）
② **工場出荷時設定** 「全て工場出荷時の設定に戻す」	すべての設定項目を工場出荷値に戻し (初期化)、再起動します。 （初期化、および再起動には約 1 分かかります） パスワードも初期化されます。なおカメラ内蔵の時計は影響を受けません。 JPEG/MPEG4 送信などのサービスが行われていた場合には、すべてのサービスが停止されます。
③ **アップデート**	カメラのファームウェアをアップデートし再起動します。 カメラの設定内容は保存されます。Internet Explorer を使用しているパソコンに新しいファームウェアのファイルをコピーし、[参照] ボタンを使ってそのファイルを指定してください。[実行] ボタンを押すとアップデートを開始します。JPEG/MPEG4 送信などのサービスが行われていた場合には、すべてのサービスが停止されます。アップデートには数分かかります。 アップデートが成功すると Internet Explorer にメッセージが表示されます。 **ご注意：** ● アップデート中あるいはアップデート後の起動中は電源を切らないでください。電源を切ってしまうと、故障の原因となる場合があります。 ● アップデートを開始する前に、本ページ以外（ビューワーなど）からのカメラへのアクセスを終了してください。 本ページ以外のアクセスが有効のまま、アップデートを開始すると、本ページのアクセスが切れる場合があります。 その場合は、本ページ以外のアクセスを終了し、再度、本ページにアクセスしてアップデートをやり直してください。

LED 設定ページ

カメラ本体の [STATUS] 表示灯の点灯方法を設定するページです。
“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [LED 設定] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] ボタンを押してください。

① **LED 設定**	運用中にカメラ本体の [STATUS] 表示灯を点灯させるかどうかを選択します。 点灯　　：運用中、点灯します。 常時消灯：起動後、消灯します。
② **確認用 LED**	パソコンから設定中のカメラを目視で確認したいなどの理由でカメラ本体の [STATUS] 表示灯を点滅させたい場合、この項目を “ 点滅 ” に設定してください。 メモ： ● LED 設定を “ 常時消灯 ” に設定していた場合、“ 点滅 ” の設定にしても消灯のままとなります。

設定（つづき）

各ページの工場出荷値一覧表

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

■ カメラページ (☞ 21 ページ)

項目	工場出荷値
カメラ ID	機種名 （例えば VN-V225VP の場合：VN-V225）
モニタータイプ	カスタム
ブラックレベル	1
ガンマ	0
エンハンス帯域	High
エンハンスレベル	0
カラーレベル	0
AGC	High
電子感度アップ	x4（1/7.5s）(※V)
	x2（1/7.5s）(※X)
ALC	動き優先
シャッタースピード	1/30(※V)
	Auto(1/15-1/100)(※X)
簡易デイナイト VN-V25、VN-X35 のみ	カラー
白黒モード VN-V26、VN-V225 シリーズ、VN-X235 シリーズのみ	カラー
EV 補正	0
ホワイトバランス	ATW
逆光補正	Off

■ エンコードページ (☞ 26 ページ)

項目	工場出荷値
フレームサイズ	VGA/VGA(※V)
	QuadVGA/VGA デジタル PTZ（MPEG4 のみ）(※X)
JPEG 画質	VFS4
MPEG4 ビットレート	2000 kbps
MPEG4 符号量制御	CBR
MPEG4 フレームレート	15 fps
MPEG4 I フレーム間隔	30
MPEG4 プライオリティ	FPS

■ 音声ページ

（VN-V25 にはこの機能はありません）
(☞ 28 ページ)

項目	工場出荷値
通信方式	半二重
マイクゲイン	32 dB
マイク電源供給 （VN-V26 にはこの機能はありません）	On
音声再生ファイル 1	ー
音声再生ファイル 2	ー
音声再生ファイル 3	ー
音声再生ファイル 4	ー
音声再生ファイル 5	ー

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

■ アラームページ (☞ 30 ページ)

項目	工場出荷値
アクション	無効
条件 1	入力 1 メイク
条件 1- 2 の間隔	ー
条件 2	無効
アクションポジションナンバー （VN-X シリーズのみ）	ー
音声再生ファイル （VN-V25 にはこの機能はありません）	ー
トリガーポジションナンバー （VN-X シリーズのみ）	ー
メールアドレス	ー
メール送信データ	ー
画像添付	off
TCP/UDP IP アドレス	ー
TCP/UDP ポート番号	ー
TCP/UDP 通信データ	ー
アラーム出力持続時間	ー
時間帯指定	常に動作する

■ アラーム環境ページ (☞ 34 ページ)

項目	工場出荷値
SMTP サーバー	0.0.0.0
ポート番号	25
差出人メールアドレス	ー
POP before SMTP	無効
POP サーバー	0.0.0.0
ポート番号	110
ユーザー名	ー
パスワード	ー
FTP サーバー	0.0.0.0
パス名	ー
ユーザー名	ー
パスワード	ー
周期的 FTP	off
周期的 FTP 間隔	1
周期的 FTP 命名	Auto
周期的 FTP 時間帯指定	常に動作する
プリポスト記録フレームレート	15 fps(※V) 5 fps(※X)
プリポスト記録プリトリガ	5 秒
プリポスト記録ポストトリガ	5 秒
出力持続時間　出力 1	1000 ミリ秒
出力持続時間　出力 2	1000 ミリ秒
手動　出力 1	ブレイク
手動　出力 2	ブレイク

■ PTZ(※X)(☞ 38 ページ)

項目	工場出荷値
モード	無効
リターン時間	1
ズームリミット	8
スピード	瞬時

■ オートパトロール (※X)(☞ 39 ページ)

項目	工場出荷値
ポジション	0～19
滞在時間	Skip
移動時間	瞬時

■ プライバシーマスクページ (☞ 41 ページ)

項目	工場出荷値
モード	Off
マスクカラー設定 色	16 (R,G,B)

■ 動き検出ページ (☞ 43 ページ)

項目	工場出荷値
動き検出	Off
検出感度	4

設定（つづき）

各ページの工場出荷値一覧表 (つづき)

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

■ ネットワーク基本ページ (☞ 45 ページ)

項目	工場出荷値
IP 設定	固定 IP
IP アドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
ホスト名	—
DNS サーバー	0.0.0.0
IP プロトコル	IP version4：On IP version6：Off
IPv6 アドレス	Disable

■ ネットワーク詳細ページ (☞ 46 ページ)

項目	工場出荷値
JPEG TOS	0
MPEG4 TOS	0
音声 TOS （VN-V25 にはこの機能はありません）	0
TTL(ユニキャスト)	64
TTL(マルチキャスト)	32
MTU	1500
ネゴシエーション	Auto

■ プロトコルページ (☞ 47 ページ)

項目	工場出荷値
HTTP サーバーポート	80
VSIP プロトコル	Off
VSIP サーバーポート	5510
AMX デバイス発見プロトコル	On
モード	クライアント数優先

■ 手動配信ページ (☞ 48 ページ)

項目	工場出荷値
JPEG 宛先アドレス	225.0.1.1
JPEG 宛先ポート	49152
JPEG フレームレート	15 fps
MPEG4 宛先アドレス	225.0.2.1
MPEG4 宛先ポート	59152
音声宛先アドレス （VN-V25 にはこの機能はありません）	225.0.3.1
音声宛先ポート （VN-V25 にはこの機能はありません）	39152

■ アクセス制限ページ (☞ 50 ページ)

項目	工場出荷値
アクセス制限	登録先を禁止
IP アドレス	—

■ 時刻ページ (☞ 52 ページ)

項目	工場出荷値
SNTP	無効
NTP サーバー	0.0.0.0
取得間隔	時、1
タイムゾーン	(GMT+9:00) Japan

■ パスワードページ (☞ 53 ページ)

項目	工場出荷値
ユーザー名	“admin”
新しいパスワード	表示は空欄 工場出荷時のパスワードは、 “admin”　: jvc “operator” : jvc “user”　: jvc

■ LED 設定ページ (☞ 55 ページ)

項目	工場出荷値
LED 設定	点灯
確認用 LED	点灯

その他のページ

情報を取得するページです。

“admin”、“operator”、“user” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [その他] をクリックしてください。

① **Open Source Software**	[表示] ボタンを押すと、カメラで利用しているソフトウェアに関する情報が表示されます。

設定（つづき）

動作状況ページ

カメラの動作状況を表示します。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

● [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
● [動作状況] をクリックしてください。

① 全ビットレート	カメラが送信している TCP/UDP の合計ビットレートと、それぞれのビットレートを表示します。
② 配信先	カメラが送信している宛先を表示します。
③ システムログ	以下の情報が表示されます。 ● 起動からの秒数 ● アラーム情報

機器情報ページ

カメラのバージョン情報および、現在の設定値を表示します。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [機器情報] をクリックしてください。

バージョン

Version	1. 00

カメラ

カメラ ID	VN-X35
モニタータイプ	カスタム
ブラックレベル	1
ガンマ	0
エンハンス帯域	High
エンハンスレベル	0
カラーレベル	0
AGC	High
電子感度アップ	x2(1/7.5s)
ALC	動き優先
シャッタースピード	Auto(1/15 - 1/100)
簡易デイナイト	カラー
EV補正	0
ホワイトバランス	ATW (R-Gain:85 B-Gain:219)
逆光補正	Off

エンコード

フレームサイズ 1	JPEG QuadVGA	MPEG4 VGA

JPEG	
画質	VFS4
サイズ	120 KB

MPEG4	
ビットレート	2000 kbps
符号量制御	CBR
フレームレート	15 fps
Iフレーム間隔	30 フレーム
プライオリティ	FPS

音声

通信方式	半二重
マイクゲイン	32 dB
マイク電源供給	On
音声ファイル1	登録なし
音声ファイル2	登録なし
音声ファイル3	登録なし
音声ファイル4	登録なし
音声ファイル5	登録なし

アラーム設定

番号	成立条件 / アクション	
01	成立条件	--------
	アクション	無効
02	成立条件	--------
	アクション	無効
03	成立条件	--------
	アクション	無効
04	成立条件	--------
	アクション	無効
05	成立条件	--------
	アクション	無効

設定（つづき）

機器情報ページ（つづき）

	ユーザー名: 周期的FTP: Off 周期的FTP 間隔: 1 周期的FTP 命名: Auto プリポスト記録 フレームレート: 15 fps プリポスト記録 プリトリガ: 5 秒 プリポスト記録 ポストトリガ: 5 秒
アラーム出力	出力1 出力持続時間 : 1000 ミリ秒 出力2 出力持続時間 : 1000 ミリ秒

PTZ

オートリターン	
モード	無効
リターン時間	1 分

リミット	
ズームリミット	8

プリセットポジション移動	
スピード	瞬時

プライバシーマスク

プライバシーマスク	Off
明るさ	R:16 G:16 B:16

動き検出

動き検出	Off
検出感度	4
マスクエリア	00000000000000000000

ネットワーク基本機能

IPアドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
ホスト名	
DNSサーバー	0.0.0.0
MACアドレス	00:80:88:98:76:54
IPプロトコル	☑ IP Version 4 ☐ IP Version 6
IPv6アドレス	link local:Disabled global :Disabled

ネットワーク詳細機能

JPEG	
TOS(DS field)	0

MPEG4	
TOS(DS field)	0

音声	
TOS(DS field)	0

共通	
TTL (ユニキャスト)	64
TTL (マルチキャスト)	32
MTU	1500
ネゴシエーション	Auto

ネットワーク詳細機能

JPEG	
TOS(DS field)	0

MPEG4	
TOS(DS field)	0

音声	
TOS(DS field)	0

共通	
TTL (ユニキャスト)	64
TTL (マルチキャスト)	32
MTU	1500
ネゴシエーション	Auto

プロトコル

HTTPサーバーポート	80
VSIPプロトコル	Off
VSIPサーバーポート	5510
AMXデバイス発見プロトコル	On

手動配信

JPEG	
ステータス	--------
アドレス	225.0.1.1
ポート	49152
フレームレート	15

MPEG4	
ステータス	--------
アドレス	225.0.2.1
ポート	59152

音声	
ステータス	--------
アドレス	225.0.3.1
ポート	39152

アクセス制限

アクセス制限	登録先を禁止	
IPアドレス		

時刻

SNTP	SNTP: 無効 NTPサーバー: 0.0.0.0 取得間隔: 1 時間
時刻 / タイムゾーン	時刻: 2008年09月04日18時25分11秒 タイムゾーン: (GMT+9:00) Japan

設定（つづき）

ポジションリスト

（VN-X シリーズのみ）
プリセットポジションの情報を表示します。
“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [ポジションリスト] をクリックしてください。

統合ビューワー
基本設定1
基本設定2

詳細設定
カメラ
エンコード
音声
アラーム
アラーム環境
PTZ
オートパトロール
プライバシーマスク
動き検出
ネットワーク基本
ネットワーク詳細
プロトコル
手動配信
アクセス制限
時刻
パスワード
メンテナンス
LED 設定
その他
動作状況
機器情報
ポジションリスト
パトロール情報

ポジション	登録	タイトル
No.0	登録あり	Home
No.1	登録なし	
No.2	登録なし	
No.3	登録なし	
No.4	登録なし	
No.5	登録なし	
No.6	登録なし	
No.7	登録なし	
No.8	登録なし	
No.9	登録なし	
No.10	登録なし	
No.11	登録なし	
No.12	登録なし	
No.13	登録なし	
No.14	登録なし	
No.15	登録なし	
No.16	登録なし	
No.17	登録なし	
No.18	登録なし	
No.19	登録なし	

クリック

パトロール情報

（VN-X シリーズのみ）
オートパトロールの情報および設定値を表示します。
“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [パトロール情報] をクリックしてください。

統合ビューワー
基本設定1
基本設定2

詳細設定
カメラ
エンコード
音声
アラーム
アラーム環境
PTZ
オートパトロール
プライバシーマスク
動き検出
ネットワーク基本
ネットワーク詳細
プロトコル
手動配信
アクセス制限
時刻
パスワード
メンテナンス
LED 設定
その他
動作状況
機器情報
ポジションリスト
パトロール情報

順番	タイトル	ポジション	滞在時間	移動速度
No.0	Home	0	Skip	瞬時
No.1		1	Skip	瞬時
No.2		2	Skip	瞬時
No.3		3	Skip	瞬時
No.4		4	Skip	瞬時
No.5		5	Skip	瞬時
No.6		6	Skip	瞬時
No.7		7	Skip	瞬時
No.8		8	Skip	瞬時
No.9		9	Skip	瞬時
No.10		10	Skip	瞬時
No.11		11	Skip	瞬時
No.12		12	Skip	瞬時
No.13		13	Skip	瞬時
No.14		14	Skip	瞬時
No.15		15	Skip	瞬時
No.16		16	Skip	瞬時
No.17		17	Skip	瞬時
No.18		18	Skip	瞬時
No.19		19	Skip	瞬時

クリック

統合ビューワーの操作

カメラは、統合ビューワーを備えています。
(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ
Internet Explorer で IP アドレスを入力することで、統合ビューワーが起動されます。統合ビューワーは JPEG、MPEG4 でのモニタリングと音声送受信および PTZ 操作 (※X) を行うことができます。

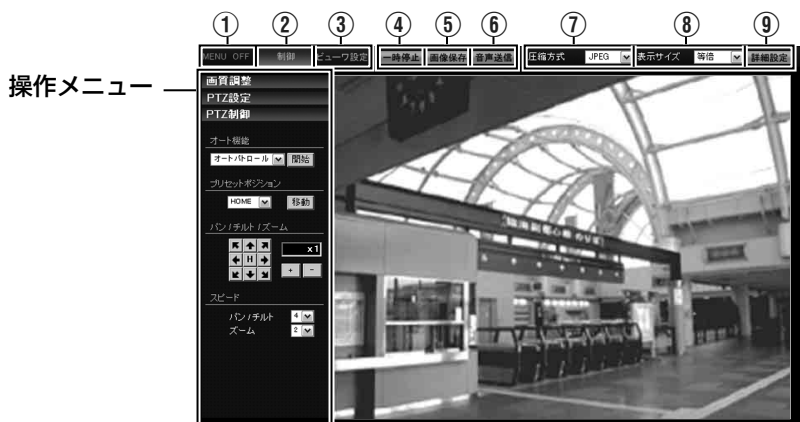
■圧縮方式が JPEG の場合、連続した静止画像の表示、静止画のワンショット記録が可能です。

■圧縮方式が MPEG4 の場合、MPEG4 エンコードの動画表示が可能です。

■JPEG/MPEG4 ビューワーを使って音声の送受信が可能です。(VN-V25 にはこの機能はありません)

◆“ 統合ビューワー画面構成 ” (☞66 ページ)
◆“ 画質に関する設定 ” (☞68 ページ)
◆“PTZ に関する設定 ” (☞70 ページ)
◆“PTZ 制御 ” (☞72 ページ)
◆“JPEG ビューワーに関する設定 ” (☞74 ページ)
◆“MPEG4 ビューワーに関する設定 ” (☞76 ページ)
◆“ 音声モニタに関する設定 ” (☞78 ページ)
◆“ ビューワーの終了 ” (☞81 ページ)

開いた画面の表示や構成がおかしい場合は、以下の手順でパソコンの設定を確認してください。
① [スタート] − [コントロールパネル] − [画面] で [画面のプロパティ] ウィンドウを開く
② [画面のプロパティ] ウィンドウの [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックする
③ [全般] タブの [DPI 設定] が [通常のサイズ(96DPI)] になっているか確認する
④ 他の設定になっていた場合、[通常のサイズ(96DPI)] に設定を変更し、Windows を再起動する

統合ビューワー画面構成

① MENU OFF/ MENU ON	操作メニューの表示 / 非表示を切り換えます。
② 制御	操作メニューを制御メニューに切り換えます。 “ 画質調整 ”、“PTZ 設定 ”(※X)“PTZ 制御 ”(※X) を操作する場合にクリックします。(☞ 68 ページ)

③ ビューワー設定	操作メニューをビューワー設定メニューに切り換えます。 “JPEG ビューワー ”、“MPEG4 ビューワー ”、“ 音声モニタ ”、“ オペレータ パスワード ” を設定する場合にクリックします。
④ 一時停止 / 再生	画像を一時停止 / 再生します。
⑤ 画像保存	表示中の画像をパソコンにキャプチャーします。パソコンの [マイドキュメント] の下に作成したフォルダに JPEG ファイルとして記録されます。フォルダ名は、工場出荷時 “ 機種名 ” になっています。 （例えば VN-V225VP の場合：“VN-V225”） ファイル名は「年月日、時分秒、ミリ秒」を示します。 **メモ：** ● Windows Vista の場合は、[ドキュメント] に画像が保存されます。 ● フォルダ名を変更することができます。(☞ 75 ページ) **ご注意：** ● ファイル名の時刻はパソコンの時刻です。カメラの時計の “ 時刻 ” ではありません。 ● 動画としてキャプチャーをすることはできません。 ● MPEG4 画像を、キャプチャーすることはできません。
⑥ 音声送信	クライアント PC からカメラに音声の送信を開始します。 1 台のカメラに対して音声送信できるのは 1 本のストリームのみです。 1 台のクライアント PC が音声送信しているときは、別のクライアント PC からは送信できません。 ● 音声送信中、[音声送信] ボタンが赤色で点灯します。 ● 音声送信できないときは、[音声送信] ボタンが赤色になりません。 **メモ：** ● JPEG ビューワーと MPEG4 ビューワーの両方から音声送信することはできません。
⑦ 圧縮方式	取得するストリームを切り換えます。JPEG、MPEG4 のどちらかを設定できます。
⑧ 表示サイズ	画像領域の表示サイズを設定します。 [可変]：ブラウザのウィンドウサイズに合わせて表示します。 [固定]：設定したフレームサイズの等倍で表示します。 **メモ：** ● [可変]/[固定] どちらの場合もブラウザのウィンドウサイズは変わりません。
⑨ 詳細設定	各種設定ページを起動します。

メモ：

● 統合ビューワーの設定は Cookie というファイルに保存されています。

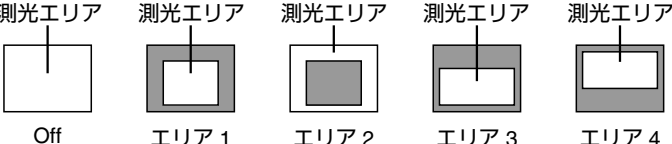
この設定画面ではパソコン上のソフトウェアとして統合ビューワーの設定を行うものであり、
カメラの設定を操作するものではありません。

Cookie ファイルの検索と削除

● Internet Explorerの[ツール]–[インターネットオプション]–[全般]を開き、[インターネット一時ファイル]の[設定] ボタンを押します。新たに [設定] ウィンドウが開き、その中の [ファイルの表示] ボタンを押します。さらに [Temporary Internet Files] ウィンドウが開き、ファイル一覧が表示されます。その中にある “cgi-bin/” という名前のファイルが統合ビューワー用 Cookie です。

● このファイルを削除するとビューワーの設定が削除され、次回ビューワーを起動するときは初期化された状態で動作します。

統合ビューワーの操作 (つづき)

画質に関する設定

画質調整を行います。
- 他のメニューが表示されているときは、[制御] をクリックし、切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

■ 画質調整

クリック

① ホワイトバランス		ホワイトバランス調整機能を選択します。
	モード	ATW モード　：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾）モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。 AWC モード　：Auto-White Balance Control（オートホワイトバランス調整）モードになります。AWC では、カメラページのホワイトバランスにある [AWC R-Gain], [AWC B-Gain] 項目に入力された数値がホワイトバランスに反映されます。
	［AWC］ボタン	AWC（オートホワイトバランス調整）を実行します。被写体と同じ照明条件の所で、画面の中心付近に白いものを置いて実行してください。 [AWC] ボタンをクリックすると AWC モードに切り換わります。

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

項目	内容
② 逆光補正	逆光補正機能を選択します。強い光源などが被写体と同じ方向にあるときに設定します。不要な光源が測光エリア外になるようにします。
モード	Off ：逆光補正しません。 エリア 1 〜 4 ：4 種類の測光エリアの中から選択します。 **[設定値：Off, エリア 1, エリア 2, エリア 3, エリア 4]** 測光エリア 測光エリア 測光エリア 測光エリア 測光エリア Off エリア 1 エリア 2 エリア 3 エリア 4 **メモ：** ● 逆光補正のエリアはデジタル PTZ(※X) には連動しません。
③ 簡易デイナイト **VN-V25、VN-X35 のみ**	簡易デイナイトを設定します。
モード	カラー ：常にカラーモードになります。 白黒 ：常に白黒モードになります。 オート ：低照度の場合に白黒モードになります。 **[設定値：**カラー , 白黒 , オート **]** **メモ：** ● オートに設定している場合は、白黒モードに切り換わるときの明るさのレベル設定は、変更できません。
③ 白黒モード **VN-V26、VN-V225 シリーズ、VN-X235 シリーズのみ**	映像を白黒モードにする設定をします。また、低照度時、自動的に白黒モードにする場合のレベルを 3 段階の中から選択します。
モード	カラー ：常にカラーモードになります。 白黒 ：常に白黒モードになります。 オート低 ：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 オート中 ：被写体の信号レベルが中輝度で白黒モードに切り換わります。 オート高 ：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 **[設定値：カラー , 白黒 ,** オート低 , オート中 , オート高 **]** **メモ：** ● モードが切り換わるときには赤外線フィルターを抜き差しする機械音が発生します。 ● 機械音が発生しているあいだ、カメラから配信する音声はミュートされます。（VN-V26 のみ） ● “ オート低 ”,“ オート中 ”,“ オート高 ” に設定した場合､本機が設定に応じた照度を検出すると即座にモードが切り換わります。
④ フォーカスアシスト機能	[実行] ボタンをクリックすると、[現在の状態] が [フォーカスアシスト] と表示され、フォーカスアシストモードになります。 [終了] ボタンをクリックすると、[現在の状態] が [通常] と表示され、フォーカスアシストモードが解除されます。 **メモ：** ● フォーカスアシストモードのまま放置すると、3 分後に解除されます。

統合ビューワーの操作 (つづき)

PTZ に関する設定

(VN-X シリーズのみ)
プリセットポジションの設定をします。

- “admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。
  利用する場合は、ユーザー名 “operator” のパスワード設定が必要となります。(☞ 80 ページ)
- 他のメニューが表示されているときは、[制御] をクリックして切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

■ PTZ 設定

項目	説明
① プリセットポジション	プリセットポジションの設定をします。
ポジション	[ポジション] を選択します。 **[設定値：HOME、1～19]**
タイトル	現在の**タイトル**が表示されます。 **タイトル**を登録、変更する場合はここへ入力します。 （英数字 32 文字、日本語 16 文字まで入力可能。**JPEG ビューワー**で表示されるのは、英数字 16 文字まで、日本語は 8 文字までです。） [**登録**] ボタンを押すと、**ポジション**登録が完了します。 **メモ：** ● [**削除**] ボタンをクリックすると、選択されている**ポジション**の情報が削除されます。ただし、[HOME] は削除できません。 ● 工場出荷時の**ホームポジション**の表示領域は全画面となっています。
② パン / チルト / ズーム /	■ パン / チルト操作 矢印ボタンをクリックすると、その方向に表示領域が移動します。ボタンを離すと停止します。 [H] ボタンをクリックすると**ホームポジション**に移動します。 ■ ズーム操作 表示領域のデジタルズーム操作を行います。 [＋]：ズームが望遠になり、被写体が大きく映ります。 [－]：ズームが広角になり、被写体が小さく写ります。 ■ 表示倍率 現在の表示倍率を表します。 **メモ：** ● [＋]ボタン操作による被写体の拡大倍率は[ズームリミット]の設定により制限することができます。(☞ 38 ページ)
③ スピード	動作スピードの設定を行います。 パン / チルト ：パン / チルト操作ボタンの動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。 **[設定値の範囲：1～8]** ズーム ：ズーム操作ボタンの動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。 **[設定値の範囲：1～4]**

統合ビューワーの操作 (つづき)

PTZ 制御

（VN-X シリーズのみ）
PTZ 機能を操作します。設定は PTZ 設定ページで行います。(☞ 70 ページ)

- “admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。
  利用する場合は、ユーザー名 “operator” のパスワード設定が必要となります。(☞ 80 ページ)
- 他のメニューが表示されているときは、[制御] をクリックし、切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

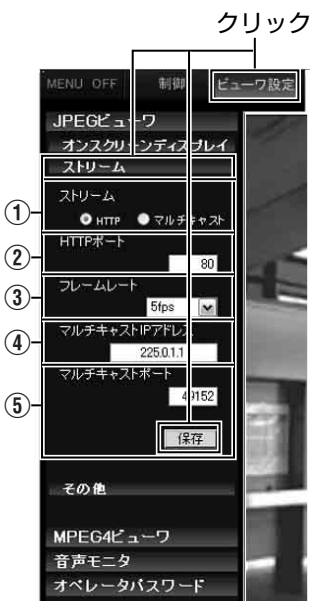
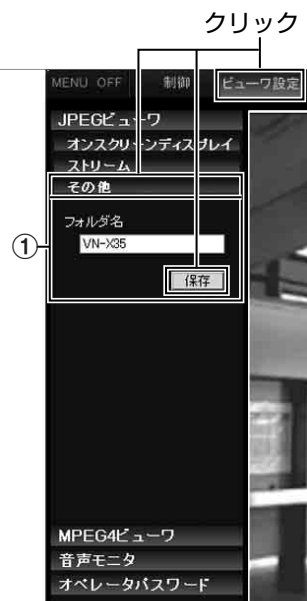
■ PTZ 制御

<table>
<tr><td>① オート機能</td><td>[開始]：オートパトロール動作を開始します。
[停止]：実行中のオートパトロール動作を停止します。</td></tr>
<tr><td>② プリセットポジション</td><td>プリセットポジションを選択します。選択したポジションが登録済みの場合は、選択したポジションに移動します。
[設定値の範囲：HOME , 1～19]</td></tr>
<tr><td>③ パン / チルト / ズーム</td><td>■パン / チルト操作
矢印ボタンをクリックすると、その方向に表示領域が移動します。ボタンを離すと移動が停止します。
[H] ボタンをクリックするとホームポジションに移動します。
■ズーム操作
表示領域のデジタルズーム操作を行います。
[＋]：ズームが望遠になり、被写体が大きく映ります。
[－]：ズームが広角になり、被写体が小さく写ります。
■表示倍率
現在の表示倍率を表します。
メモ：
● [＋]ボタン操作による被写体の拡大倍率は[ズームリミット]の設定により制限することができます。(☞ 38 ページ)</td></tr>
<tr><td>④ スピード</td><td>動作スピードの設定を行います。
パン / チルト ：パン / チルト操作ボタンの動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。
[設定値の範囲：1～8]
ズーム ：ズーム操作ボタンの動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。
[設定値の範囲：1～4]</td></tr>
</table>

統合ビューワーの操作 (つづき)

JPEG ビューワーに関する設定

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ
圧縮方式が JPEG の場合は、連続した静止画像の表示や静止画のワンショット記録ができます。
インストール時の JPEG ビューワーは、15fps(※V)、5fps(※X) で再生するように設定されています。

- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定] をクリックして切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。
- [保存] ボタンをクリックすると、設定がビューワー上で有効となり、パソコンに保存されます。

■ オンスクリーン ディスプレイ設定	ビューワー画面の表示項目について設定します。 JPEG ビューワーでは、映像の上に文字がオーバーレイ表示されます。
① カメラ ID	[カメラ ID] を表示する場合には、“ オン ” を選択します。 [カメラ ID] は、カメラの [基本設定 2] または、[カメラ] ページで設定できます。(☞ 21 ページ)
② ポジションタイトル (※X)	“ オン ” を選択すると、ポジションタイトルが表示されます。
③ 動き検出	“ オン ” を選択すると、動き検出された映像表示範囲の枠が赤くなります。
④ 時刻	時刻を表示する場合には、“ オン ” を選択します。 JPEG データの中に収納されている時刻を表示します。
⑤ フォーマット	時刻を表示する形式を選択します。YYYY, MM, DD は年月日を意味し、HH, MM, SS はそれぞれ時分秒を意味します。mm は 100 分の 1 秒です。

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

項目	説明
■ ストリーム設定	JPEG ストリーム受信について設定します。
① ストリーム	ビューワーがカメラからデータを取得するときのプロトコルを選択します。 “HTTP” を選択すると、パケットロスが起こった場合には再送によってリカバリーされます。“ マルチキャスト ” を選択すると多数のビューワーでカメラをモニターできます。 なおマルチキャストで再生する場合には、[手動配信] ページにおいてマルチキャストを送信開始してください。(☞ 48 ページ) **ご注意：** ● “ マルチキャスト ” に設定して統合ビューワーを起動したときに、Windows ファイアウォールが警告を表示する場合があります。その場合は、“ ブロックしない ” を選択して先へ進んでください。 ● “ ブロックする ” を選択すると、Windows ファイアウォールがマルチキャストストリームをブロックするので、ビューワーはマルチキャストを再生できません。
② HTTP ポート	HTTP のポート番号を変更できます。 工場出荷時は、80 番です。 カメラのプロトコルページで設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 47 ページ)
③ フレームレート	ビューワーが取得するフレームレートを選択します。 大きなフレームレートを選択すると、ビューワーを動作させるパソコンの処理量が増えます。 [設定値：30(※V), 25(※V), 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2, 1, 1/2, 1/3, 1/5, 1/10, 1/15, 1/20, 1/30, 1/60] **ご注意：** ● パソコンの CPU 負荷が 80 %以下になるように設定してください。CPU 負荷が大きいとパソコンが正常に動作しない場合があります。
④ マルチキャスト IP アドレス	マルチキャスト IP アドレスを変更できます。 工場出荷時は 225.0.1.1 です。
⑤ マルチキャストポート	マルチキャストのポート番号を変更できます。 工場出荷時は、49152 番です。 [手動配信] ページの [JPEG 配信] 項目で “ 開始 ” を選択した場合に有効です。 カメラの [手動配信] ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 48 ページ)
■ その他	
① フォルダ名	キャプチャーしたファイルを保存するフォルダ名を変更することができます。（ビューワーインストール時：“ 機種名 ” です。 （例えば VN-V225VP の場合：“VN-V225”）

統合ビューワーの操作

MPEG4 ビューワーに関する設定

圧縮方式が MPEG4 場合は、MPEG4 エンコードの動画表示ができます。
- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定] をクリックして切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください
- [保存] ボタンをクリックすると、設定がビューワー上で有効となり、パソコンに保存されます。

メモ：
- カメラのMPEG4ビューワーを利用するには､オープンソースのコーデック ffdshow をインストールしてください。ffdshow はインターネットから入手できます。

■ タイトルバー

クリック

MENU OFF
制御
ビューワ設定
タイトルバー
① カメラID
On Off
② ポジションタイトル
On Off
③ 時刻
On Off
④ フォーマット
YYYY/MM/DD HH:MM:SS
保存
ストリーム
音声モニタ
オペレータパスワード

■ ストリーム

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

■ タイトルバー表示設定		ビューワー画面の表示項目について設定します。 MPEG4 ビューワーでは、ウィンドウのタイトルバーに文字が表示されます。
	① カメラ ID	[カメラ ID] を表示する場合には、“ オン ” を選択します。 [カメラ ID] は、カメラの [基本設定 1] または [カメラ] ページで設定できます。(☞ 21 ページ)
	② ポジションタイトル (※X)	“ オン ” を選択すると、ポジションタイトルが表示されます。
	③ 時刻	“ オン ” を選択すると、時刻が表示されます。
	④ フォーマット	時刻を表示する形式を選択します。 YYYY, MM, DD は年月日を意味し、HH, MM, SS はそれぞれ時分秒を意味します。mm は 100 分の 1 秒です。
■ ストリーム設定		MPEG4 ストリーム受信について設定します。
	① ストリーム	ビューワーがカメラからデータを取得するときのプロトコルを選択します。“HTTP” を選択すると、パケットロスが起こった場合には再送によってリカバリーされます。“ マルチキャスト ” を選択すると多数のビューワーでカメラをモニターできます。 なおマルチキャストで再生する場合には、[手動配信] ページにおいてマルチキャストを送信開始してください。(☞ 48 ページ) **ご注意:** ● “ マルチキャスト ” に設定して統合ビューワーを起動したときに、Windows ファイアウォールが警告を表示する場合があります。その場合は、“ ブロックしない ” を選択して先へ進んでください。 ● “ ブロックする ” を選択すると、Windows ファイアウォールがマルチキャストストリームをブロックするので、ビューワーはマルチキャストを再生できません。
	② HTTP ポート	HTTP のポート番号を変更できます。工場出荷時は、80 番です。 カメラのプロトコルページで設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 47 ページ)
	③ マルチキャスト IP アドレス	マルチキャスト IP アドレスを変更できます。 工場出荷時は 225.0.2.1 です。
	④ マルチキャストポート	マルチキャストのポート番号を変更できます。 工場出荷時は、59152 番です。 [手動配信] ページの [MPEG4 配信] 項目で “ 開始 ” を選択した場合に有効です。 カメラの [手動配信] ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 49 ページ)

統合ビューワーの操作 (つづき)

音声モニタに関する設定

(VN-V25 にはこの機能はありません)
JPEG ビューワー、MPEG4 ビューワーを使って音声を送受信するための設定をします。

- “admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。
  利用する場合は、ユーザー名 “operator” のパスワード設定が必要となります。(☞ 80 ページ)
- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定] をクリックして切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。
- [保存] ボタンをクリックすると、設定がビューワー上で有効となり、パソコンに保存されます。

■ 受信　■ 送信　■ 共通

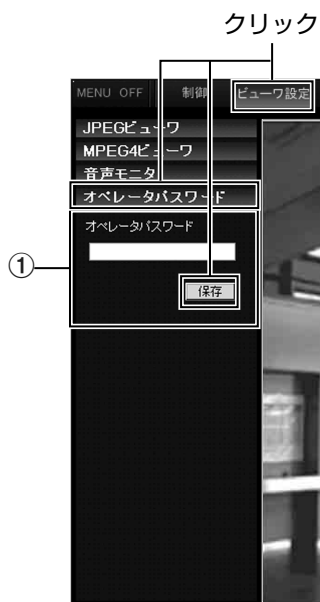
■ 受信設定		カメラから配信される音声の受信に関して設定します。
	① 受信	受信の有無を設定します。受信する場合は、“On” を選択します。
	② ストリーム	受信する音声のストリームの形式を選択します。 “HTTP” を選択すると、パケットロスが起こった場合には再送によってリカバリーされます。“ マルチキャスト ” を選択すると、多数のクライアント PC でカメラの音声をモニターできます。なおマルチキャストで受信する場合には、[手動配信] ページにおいてマルチキャストを送信開始してください。(☞ 48 ページ) **ご注意：** ● “ マルチキャスト ” に設定して統合ビューワーを起動したときに、Windows ファイアウォールが警告を表示する場合があります。その場合は、“ ブロックしない ” を選択して先へ進んでください。 ● “ ブロックする ” を選択すると、Windows ファイアウォールがマルチキャストストリームをブロックするので、クライアント PC は音声を受信できません。
	③ マルチキャスト IP アドレス	マルチキャスト IP アドレスを変更できます。 工場出荷時は 225.0.3.1 です。 カメラの [手動配信] ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 48 ページ)
	④ マルチキャストポート	マルチキャストのポート番号を変更できます。 工場出荷時は、39152 番です。 カメラの [手動配信] ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 48 ページ)
■ 送信設定		パソコンからカメラへの音声送信に関して設定します。
	① 宛先ポート	パソコンからカメラへの音声送信の宛先ポートを変更できます。工場出荷時は、49298 番です。
■ 共通		HTTP ポートの設定を入力します。
	① HTTP ポート	クライアント PC が HTTP でカメラへアクセスする場合のポート番号を変更できます。 工場出荷時は、80 番です。 カメラのプロトコルページで設定してあるパラメーターと同じ値を指定して下さい。(☞ 47 ページ)

統合ビューワーの操作 (つづき)

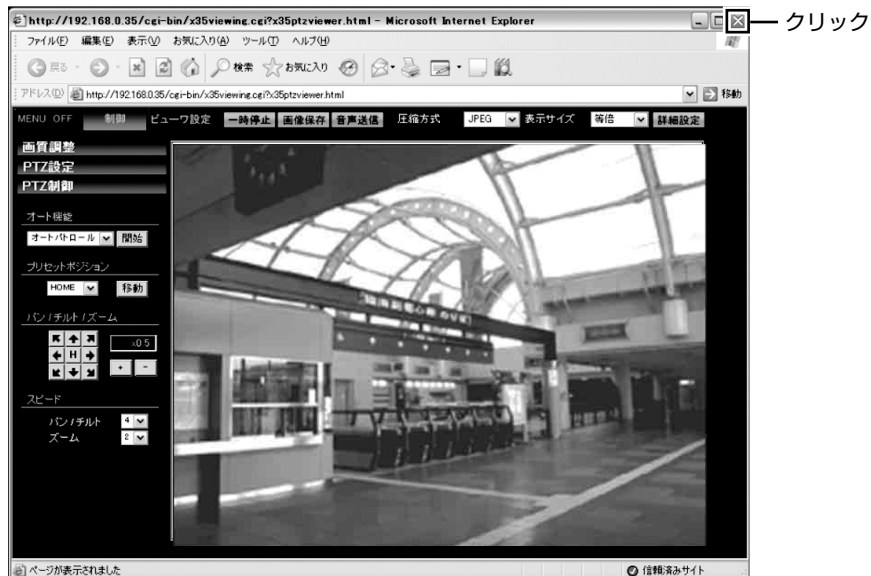
オペレータ パスワード

(※V) は、VN-V シリーズのみ・(※X) は、VN-X シリーズのみ

音声送受信（VN-V25 にはこの機能はありません）、PTZ 操作 (※X) に必要なオペレーターパスワードの設定をします。

- “ admin” および “ operator” でアクセスした場合に利用可能です。
- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定] をクリックして切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。
- [保存] ボタンをクリックすると、設定がビューワー上で有効となり、パソコンに保存されます。

① オペレータ パスワード		音声送信（VN-V25 にはこの機能はありません）、PTZ 操作 (※X) に必要なオペレーターパスワードの設定します。
	オペレータ パスワード	ユーザー名 “operator” のパスワードを入力します。 パスワードページで設定したパスワードを入力してください。 (☞ 53 ページ)

ビューワーの終了

ウィンドウ右上の［×］ボタンで終了します。

メモ：
- 次回統合ビューワーを起動するときには、Internet Explorer を起動しアドレス欄に統合ビューワーの URL を入力します。
  例えばカメラの IP アドレスが 192.168.0.2 であれば、次を入力してください。
  http://192.168.0.2/
- 「 セキュリティ警告 」画面が表示されたら [はい] ボタンを押し、先に進んでください。

こんなときは

症状	原因と対応	参照ページ
カメラの IP アドレスがわからない	● 工場出荷時であれば 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。 ● [IP 設定] が “DHCP” に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合には、工場出荷時の IP アドレスで起動します。 ● 同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、検索ツールを使って検索できます。	☞ 17 ページ ☞ 10 ページ
カメラの Web ページを閲覧できない	Internet Explorer の設定を確認してください。 また、プロキシーサーバーをご使用の場合には、Internet Explorer のプロキシーサーバーの設定を行なってください。	☞ 8 ページ
統合ビューワーをインストールできない	Internet Explorer の設定を確認してください。 統合ビューワーは ActiveX というソフトウエアコンポーネントで構成されています。 はじめて統合ビューワーを使ったときに ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してから統合ビューワーをインストールしてください。	☞ 8 ページ
統合ビューワーをインストールするときに、VeriSign 社による認証が表示される	統合ビューワーには VeriSign 社の電子署名が行われています。 パソコンがインターネットに接続されているネットワーク環境では、VeriSign 社の認証によって統合ビューワーの真正性を確認できるようになっています。	ー
統合ビューワーを起動すると警告メッセージが出る	統合ビューワーは ActiveX というソフトウエアコンポーネントで構成されています。 はじめて統合ビューワーを使ったときに ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを拒否する場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してから統合ビューワーをインストールしてください。	ー
TCP の画像が再生されない	● カメラが TCP 送信できる画像の最大本数は 20 で、1 台のカメラへ接続できる統合ビューワーは最大で 20 個となります。それ以上の箇所でモニターしたい場合は、マルチキャストをご利用ください。カメラは JPEG と MPEG4 のマルチキャストを 1 本づつ送信可能です。 ● JPEG 配信が “ フレームレート優先 ” モードに設定されていると、クライアントから要求されたフレームレートを維持しますが、最大配信数が少なくなります。	☞ 3 ページ ☞ 47 ページ

症状	原因と対応	参照ページ
マルチキャストの画像が再生されない	● カメラの[手動配信]ページから手動でマルチキャストを送信開始してください。 ● 統合ビューワーでマルチキャスト受信する場合、カメラの [手動配信] ページと統合ビューワーの設定とで、マルチキャストアドレスとポート番号が一致しているか確認してください。 またマルチキャストは IGMPv2 に対応したネットワークでご利用ください。 ● WindowsXP のファイアウォールによってマルチキャストがブロックされている場合があります。その場合は下記操作で通過させることができます。[スタート]–[コントロールパネル] で [Windows ファイアウォール] をダブルクリックし、例外タブにある [ポートの追加 ...] ボタンをクリックし、ポート番号の欄に通過させたいポート番号を登録してください。名前の欄には、任意の文字列を登録してください。	☞ 48 ページ ☞ 74 ページ ☞ 66 ページ
表示される画像のフレームレートが低い	● 統合ビューワーを用いている場合は、統合ビューワーの設定を確認してください。 ● ネットワークの帯域が狭い場合には、フレームレートが制約されます。 ● 画像配信設定が、“ クライアント数優先 ” モードに設定されている場合、配信要求が増えると、設定したフレームレートより低いフレームレートで配信されます。	☞ 66 ページ ☞ 75 ページ ☞ 47 ページ
統合ビューワーに白い領域が現れる	● 一部のパソコンでは、Internet Explorer の下記設定を行うと、Internet Explorer の中の一部の領域が描画されず白く残る場合があります。 [デスクトップで右クリック]–[プロパティ]–[設定]–[詳細設定]–[全般]–[DPI 設定] で、“ 大きなサイズ ” か “ カスタム設定 ” を選んだ場合は、“ 通常のサイズ ” を選択すれば、正常な描画に戻ります。	ー
TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない	● WindowsXP のファイアウォールによってデータがブロックされている場合があります。その場合は下記操作で通過させることができます。 [スタート]–[コントロールパネル] で [Windows ファイアウォール] をダブルクリックし、例外タブにある [ポートの追加 ...] ボタンをクリックし、ポート番号の欄に通過させたいポート番号を登録してください。名前の欄には、任意の文字列を登録してください。	ー
ネットワークへ画像を配信しない	● カメラ本体の [MONITOR OUT] 選択スイッチが “NTSC” または “PAL”、“N”、“P” に設定されていませんか。この場合は、[MONITOR OUT] 選択スイッチを “OFF” に設定してください。スイッチを切り換えた後、リセットボタンを押して再起動してください。	取扱説明書（設置編）

こんなときは (つづき)

症状	原因と対応	参照ページ
FTP サーバーに記録したファイル名が文字バケする	ファイル名に全角文字を使用する場合は、文字コードが EUC-JP の FTP サーバーを使用してください。	☞ 35 ページ
MPEG4 ビューワーが黒画面になる	パソコンに DirectX 9.x または、Windows MediaPlayer 9.x 等がインストールされている場合、映像が黒画面になる場合があります。 [対処方法] カメラの統合ビューワーを利用するには、オープンソースのコーデック ffdshow をインストールしてください。ffdshow はインターネットから入手できます。	ー
MONITOR 画像が出力されない	● [MONITOR OUT]選択スイッチを“NTSC”または“PAL”、“N”、“P” に設定してリセットボタンを押してください。 ● [MONITOR] 出力を使用するときはプライバシーマスクを “Off” に設定してください。	取扱説明書（設置編） ☞ 41 ページ
MONITOR 画像の下部に帯状のノイズが出る	[MONITOR] 出力を使用するときはプライバシーマスクを “Off” に設定してください。	☞ 41 ページ
ネットワーク経由の映像が乱れている	[MONITOR OUT] 選択スイッチを “OFF” に設定してリセットボタンを押してください。	取扱説明書（設置編）

ネットワークカメラ

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950 ［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町 2969-2 電話(042)660-7245

LST0850-001A